

平成 22 年度第 1 回下北地域公共交通総合連携協議会

日時 平成 22 年 11 月 16 日 (火) 13:30～

会場 むつ市役所本庁舎 大会議室 1

次 第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 経過報告

(2) 下北地域公共交通総合連携計画策定調査の進め方について

(3) 地域公共交通の現状分析について

(4) 移動実態アンケート調査実施計画 (案) について

(5) 交通事業者・観光実態調査実施計画 (案) について

(6) その他

4. 閉会

(配布資料一覧)

- ・ 委員名簿
- ・ 配席図
- ・ 資料 - 1 下北地域公共交通総合連携計画策定調査の進め方
- ・ 資料 - 2 地域公共交通の現況分析
- ・ 資料 - 3 移動実態アンケート調査実施計画 (案)
- ・ 資料 - 4 交通事業者・観光実態調査実施計画 (案)
- ・ 別紙 移動実態アンケート調査票 (案)

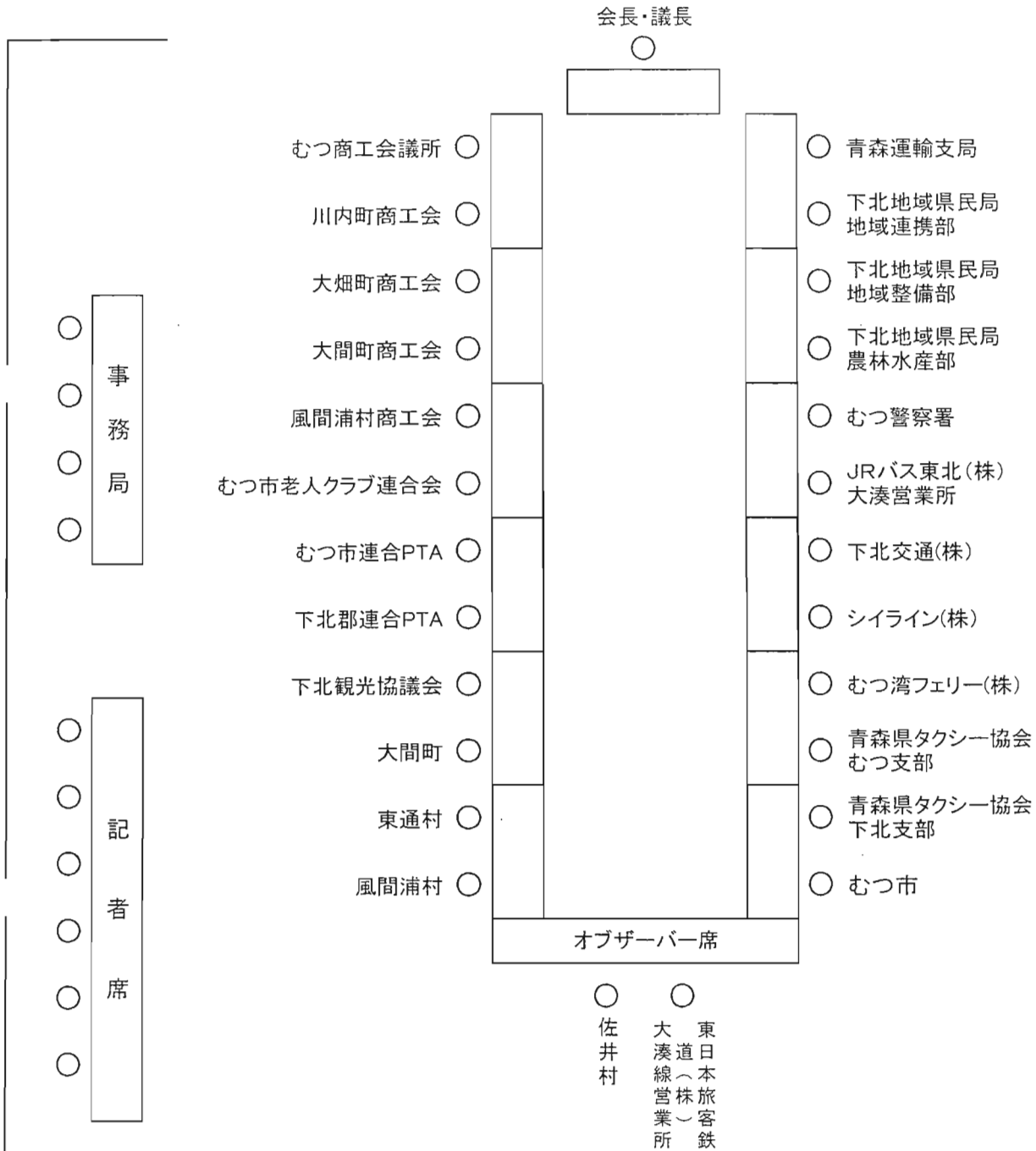
下北地域公共交通総合連携協議会委員名簿

区分	所属	職名	氏名	備考	出欠
法第6条第2項第1号 ○連携計画を作成し ようとする市町村	むつ市総務政策部	政策推進監	伊藤 道 郎		
	大間町企画経営課	課長	伊藤 健 一		
	東通村経営企画課	課長	田 中 政 明		
	風間浦村総務課	課長	中 津 耕 太 郎		
	佐井村総務課	副参事	中 村 優 子		オブザーバー出席
法第6条第2項第2号 ○関係する交通事業者等	東日本旅客鉄道(株)大湊線営業所	助役	鳥谷部 哲 治		オブザーバー出席
	JRバス東北(株)大湊営業所	所長	村 上 美 伸		
	下北交通(株)	常務取締役	杉 山 毅		
	シライイン(株)	代表取締役	濱 崎 正 明		
	むつ湾フェリー(株)	常務取締役	石 川 俊 夫		
	青森県タクシー協会むつ支部	支部長	舘 岡 清 貴		
	青森県タクシー協会下北支部	支部長	乙 部 文 夫		
○関係する道路管理者 ○関係する漁港管理者	下北地域県民局地域整備部道路施設課	課長	松 橋 靖 之		
	下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所管理課	課長	宇 野 貴		
法第6条第2項第3号 ○公安委員会	むつ警察署交通課	課長	佐 藤 克 彦		
	大間警察署交通課	課長	大 橋 次 郎		欠席
○利用者	青森県地域婦人団体連合会下北地区ブロック	ブロック長	齋 藤 美 津 江		欠席
	むつ市老人クラブ連合会	会長	大 畑 敏 和		
	下北郡老人クラブ連合会	会長	松 谷 幸 一		欠席
	むつ市連合PTA	会長	柴 田 文 彦		
	下北郡連合PTA	会長	野 崎 尚 文		
	むつ商工会議所	会頭	關 實	(副会長)	
	川内町商工会	理事	本 間 千 佳 子	(監事)	
	大畑町商工会	会長	越 後 林 達 巳		
	大間町商工会	会長	松 山 義 文		欠席
	東通村商工会	会長	二 本 柳 雄 作		欠席
	風間浦村商工会	会長	駒 嶺 剛 一		欠席
	佐井村商工会	会長	山 口 捷 夫		欠席
	下北観光協議会	事務局長	柳 谷 孝 志		
法第6条第2項第4号 ○学識経験者等	青森公立大学	教授	山 本 恭 逸	(会長)	
	国土交通省東北運輸局青森運輸支局	首席運輸 企画専門官	田 中 和 男		
	下北地域県民局地域連携部地域支援室	室長	村 上 泰 浩	(監事)	

平成22年度第1回下北地域公共交通総合連携協議会 席図

日時 平成22年11月16日(火)13:30～

場所 むつ市役所本庁舎 大会議室1



入口

下北地域公共交通総合連携計画策定調査の進め方

1. 目的

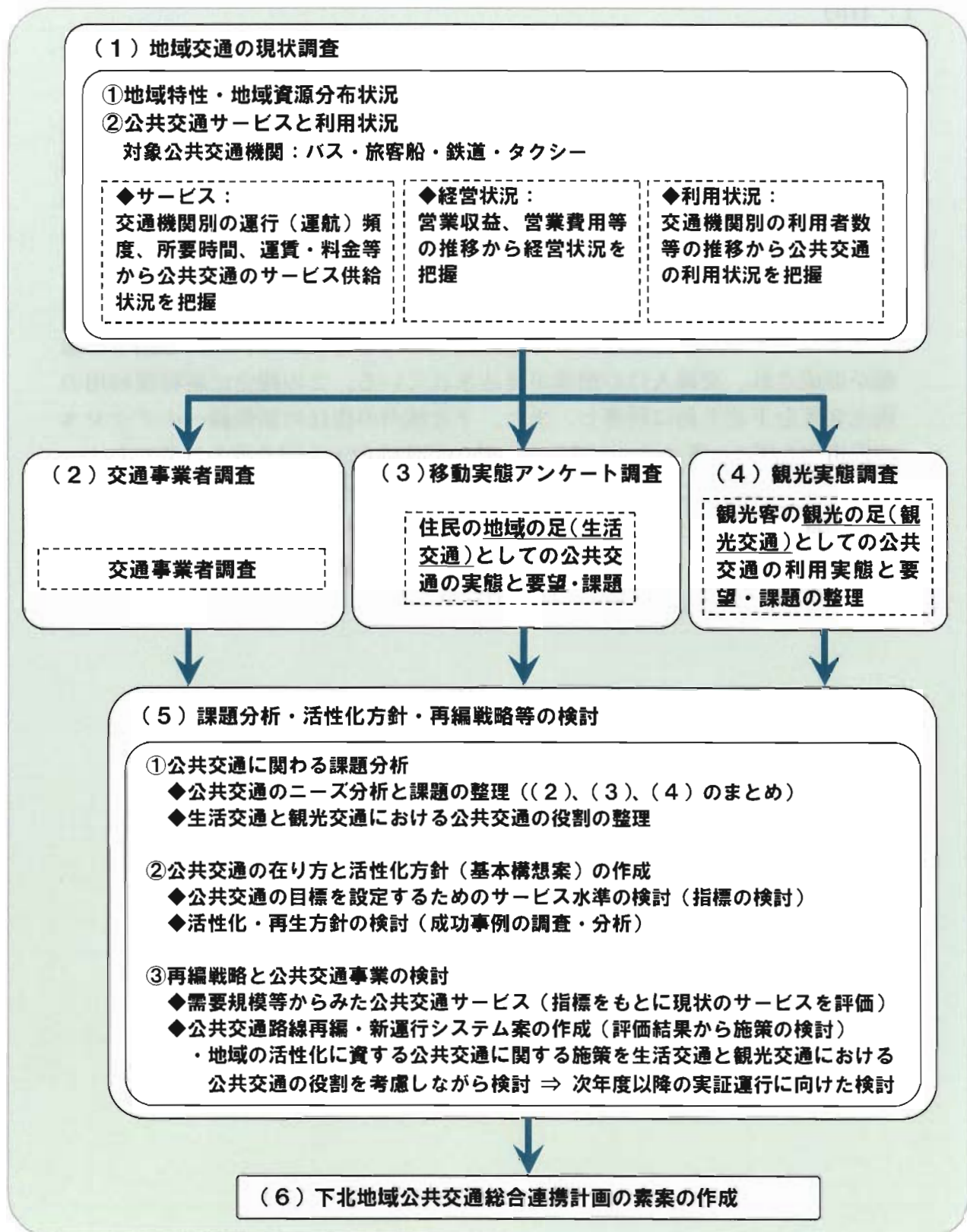
下北半島においては、少子高齢化社会の進展や雇用の場の確保が十分でないこと等から人口の減少が顕著となっており、モータリゼーションの普及とも相まって公共交通の利用者が大きく減少し、交通事業者の経営環境も悪化してきているが、運転のできない高齢者等の増加等に係るむつ市内の総合病院や各地区にある診療所、医院等への通院や買物等、地域住民の重要な交通手段として公共交通機関の機能的な運行（運航）や活性化案の立案・推進が喫緊の課題となっている。

また、青森県においては、平成14年に東北新幹線八戸駅が開業し、更に、平成22年12月には東北新幹線全線開業となることから、新たな国土幹線軸が形成され、交流人口の増加が見込まれている。この機会に新幹線利用の観光客等を下北半島に誘導し、また、下北域内の住民の新幹線へのアクセスの円滑化を図り、更には、地域内の移動の利便性向上を図る等の目的のため、地域交通を戦略的に再編し、活性化することが求められている。

この機会を好機と捉え、むつ市・大間町・東通村・佐井村・風間浦村、交通事業者、有識者、住民団体等が参画した法定協議会において、様々な方策を協議・検討するものである。

2. 調査フロー

本調査のフローを以下に示す。



3. 調査方法

(1) 地域交通の現状調査

1) 地域特性・地域資源分布状況

・計画策定の基本となる地域別の人口や高齢者分布特性、生活交通の目的地となる施設や観光地の分布、施設や観光地の利用者数の推移、学校の統廃合計画等を整理する。また、人口等については、厚生労働省の外郭団体である人口問題研究所の将来推計人口を用いて、将来の動向についても確認する。なお、分析に当たっては、GISを用いて視覚的に表現する他、過去のデータが存在する場合は、複数年のデータを整理し、傾向を把握する。

2) 公共交通サービスと利用状況

・公共交通のサービス状況と利用状況を把握する。特に交通機関別の利用状況については公表データがほとんど存在しないため、交通事業者に対して調査を実施し、補完する。

＜対象とする交通機関＞バス・旅客船・鉄道・タクシー

＜主なヒアリング項目＞

サービス：交通機関別の運行（運航）頻度、所要時間、運賃・料金等から公共交通のサービス供給状況

経営状況：営業収益、営業費用等の推移から経営状況

利用状況：交通機関別の利用者数等の推移から公共交通の利用状況

(2) 交通事業者調査

・(1)の2)公共交通サービスと利用状況を把握しきれない項目について交通事業者（バス・旅客船・鉄道・タクシー）に対して、調査を実施する。

(3) 移動実態アンケート調査

・下北域内の住民の移動実態及び生活交通ニーズ、そのうち、公共交通が担うべき生活交通ニーズ等を把握するとともに、特に、通勤・通学の他にも通院・買物・私事等の生活交通の実態と、公共交通で行きたい場所について調査するため、下北地域の住民を対象にアンケート調査を実施する。

(4) 観光実態調査

・東北新幹線全線開業も視野に入れ、下北半島を訪れる観光客の旅行目的、交通機関別の周遊ルート、来訪頻度等の旅行実態を把握するため、各市町村観光協会や観光ルートバス・観光タクシー運行事業者に対する調査を実施する。

(5) 課題分析・活性化方針・再編戦略等の検討

1) 公共交通に関わる課題分析

- ・(2)、(3)、(4)の各調査で得られた公共交通の利用実態と利用者のニーズから公共交通のニーズに関する分析及び現状の公共交通の課題を整理する。
- ・また、生活交通と観光交通における公共交通の役割についても整理する。

2) 公共交通の在り方と活性化方針（基本構想案）の作成

- ・現状の公共交通の課題をより具体的に抽出するために、公共交通の目標を設定するサービス水準の指標を検討する。
(例) 1日6運行以上、輸送人員5人／運行以上等
- ・また、活性化・再生方針の検討として、他地域における成功事例の調査・分析を実施する。

3) 再編戦略と公共交通事業の検討

- ・2)で検討した指標をもとに、現状の各公共交通機関の路線別の評価を行う(路線にプライオリティを付ける)。
- ・評価の結果を踏まえて、公共交通路線の再編や必要に応じて路線バスを乗合タクシーに変更する等の新運行システム案を作成する。
- ・上記を踏まえて、生活交通と観光交通における公共交通の役割を考慮しながら、次年度以降の実証運行を実施する施策を検討する。

(6) 下北地域公共交通総合連携計画の素案の作成

- ・(1)から(5)の調査内容を踏まえて、今後の下北地域における公共交通の利便性向上の実現に向けたアクションプランとして、「下北地域公共交通総合連携計画」の素案を作成する。

(7) 報告書のとりまとめ

- ・(1)から(5)の内容を報告書(成果物)にとりまとめる。

(8) 下北地域公共交通総合連携協議会の運営支援業務

- ・協議会委員の参加日程調整、協議会委員への召集連絡等の実施や会議資料の作成・配布、議事録作成、委員(民間)に対する報酬、旅費等の支払い、その他協議会運営に必要な経費の支払いを行う。

4. 調査スケジュール

以下に本調査のスケジュールを示す。

作業項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域交通の現状調査 ・地域特性・地域資源分布状況 ・公共交通サービスと利用状況	→	→							
(2) バス・旅客船等交通事業者・利用者調査 ・交通事業者調査 ・利用者調査			→	→	→				
(3) 移動実態アンケート調査			→	→	→				
(4) 観光実態調査			→	→	→				
(5) 課題分析・活性化方針・再編戦略等の検討 ・公共交通に関わる課題分析 ・公共交通の在り方と活性化方針(基本構想案)の作成 ・再編戦略と公共交通事業の検討					→	→	→		
(6) 下北地域公共交通総合連携計画の素案の作成					→	→			
(7) 報告書の取りまとめ							→	→	→
(8) 下北地域公共交通総合連携協議会の運営支援業務					○		○	○	

地域公共交通の現況分析

1. 人口

①人口分布

夜間人口、従業員人口ともにむつ市むつ地区の市街地が最も密度が高く、次いで大間町周辺の密度が高い。

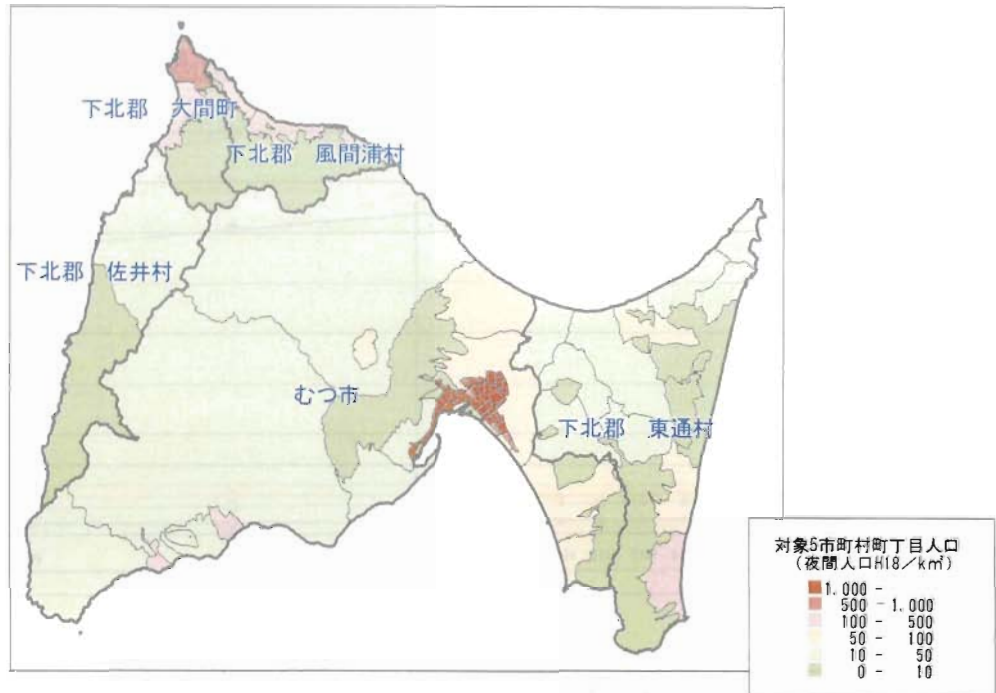


図 町丁目別夜間人口密度

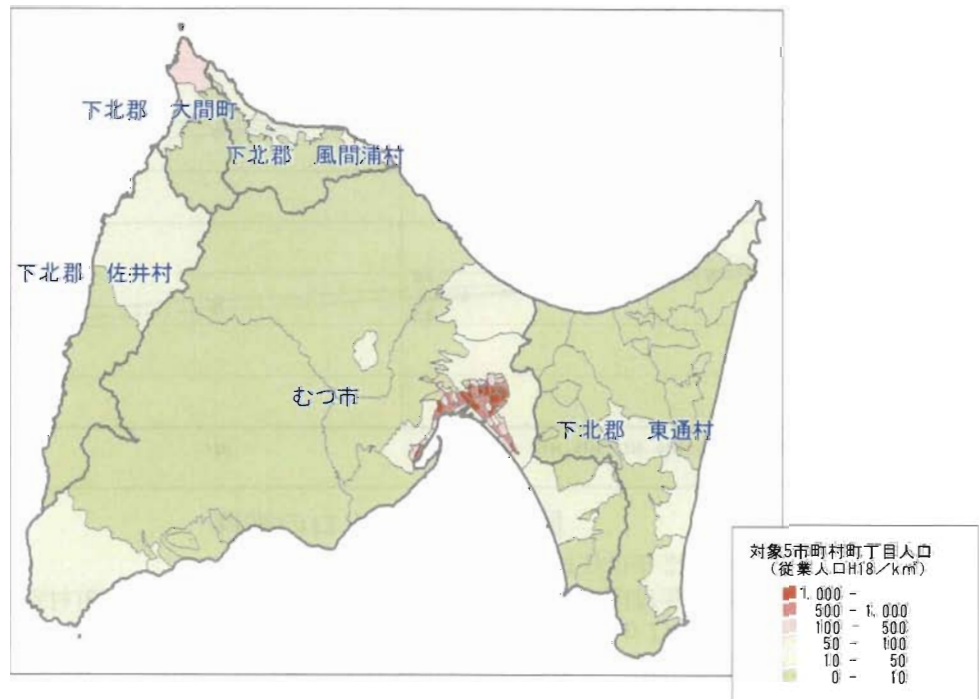


図 町丁目別従業員人口密度

※出典：住民基本台帳（平成18年）

②下北地域人口推移

下北地域の5市町村（むつ市・大間町・東通村・佐井村・風間浦村）の総人口は約8万3千人である（平成22年3月現在）。平成12年から10年間で、約8千人の人口が減少しており、10年後の平成32年には約7万4千人までの減少が予想される。

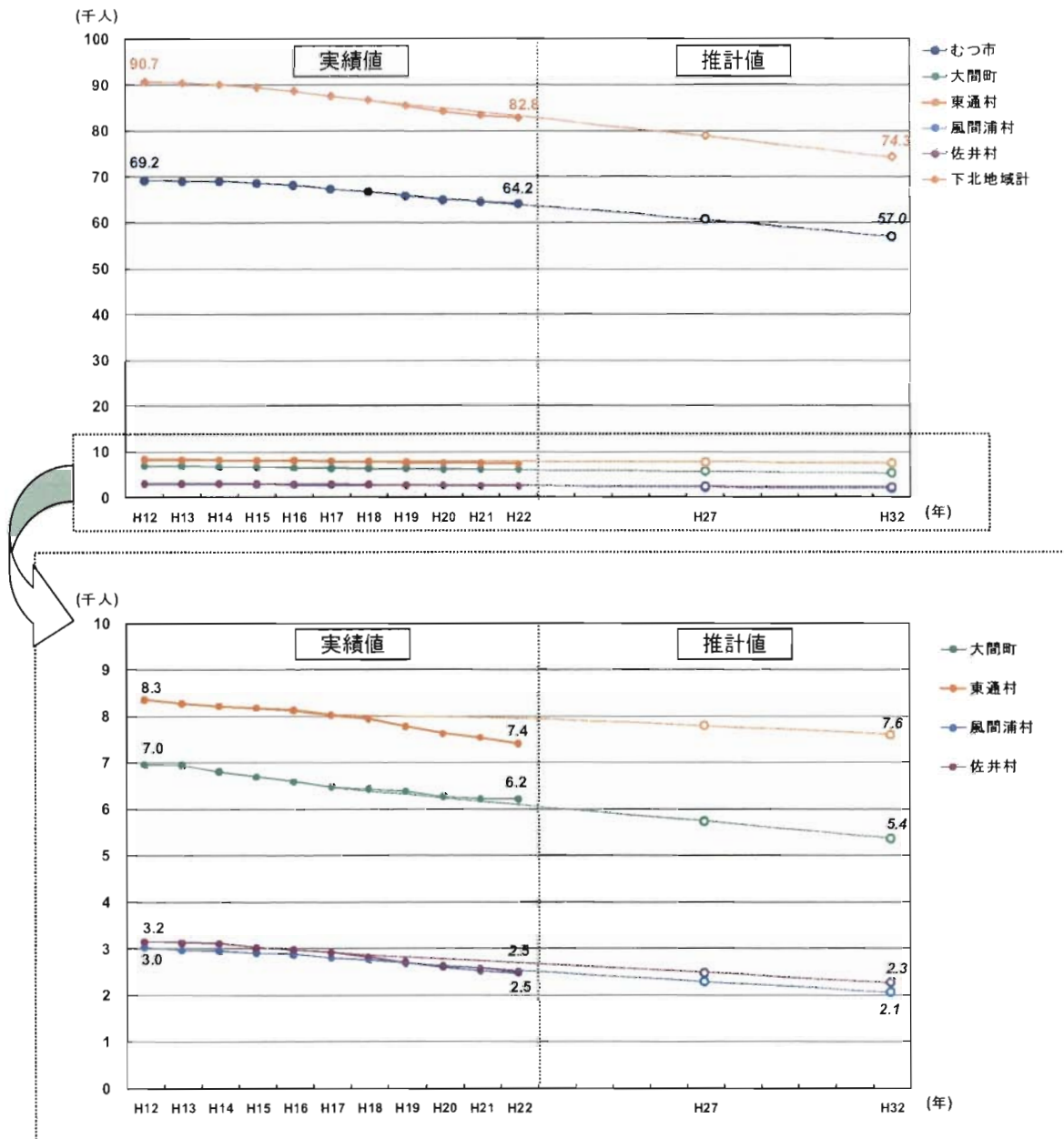


図 下北地域人口の推移

※出典：平成12年から平成22年は住民基本台帳による人口
 平成27年、平成32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）（平成17年の住民基本台帳の人口を平成17年の国勢調査の人口で除した値を国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口に乗じて、補正して算出した人口

年少人口（14歳以下）が総人口に占める割合の推移をみると地域全体で平成12年の約16%から10年間で約13%まで減少しており、10年後の平成32年には約10%までの減少が予想される。特に風間浦村と佐井村の減少が著しく、平成32年には10%以下になると予想される。

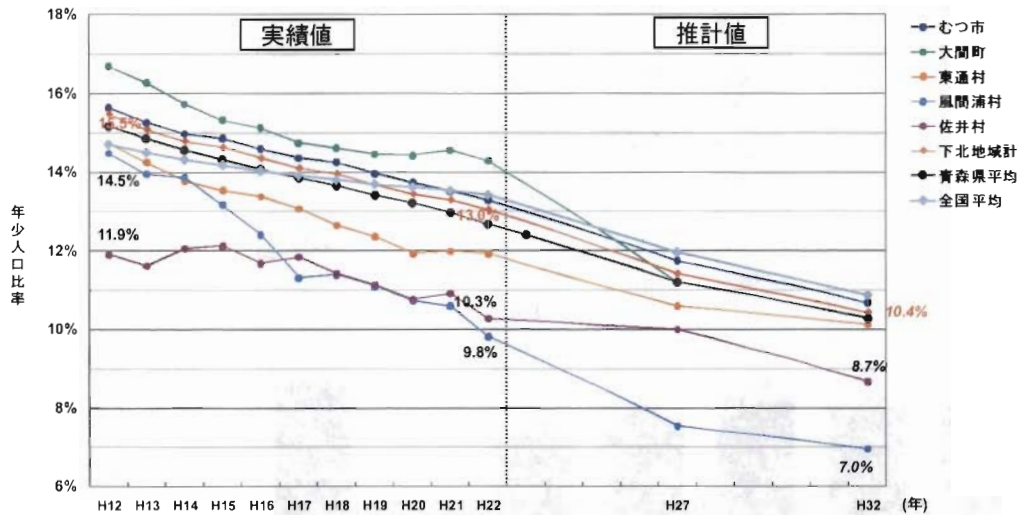


図 年少人口（14歳以下）が総人口に占める比率の推移

老年人口（65歳以上）が総人口に占める割合の推移をみると地域全体で平成12年の約19%から10年間で約25%まで増加しており、10年後の平成32年には約33%までの増加が予想される。特に風間浦村と佐井村の増加が著しく、平成32年には40%以上になると予想される。

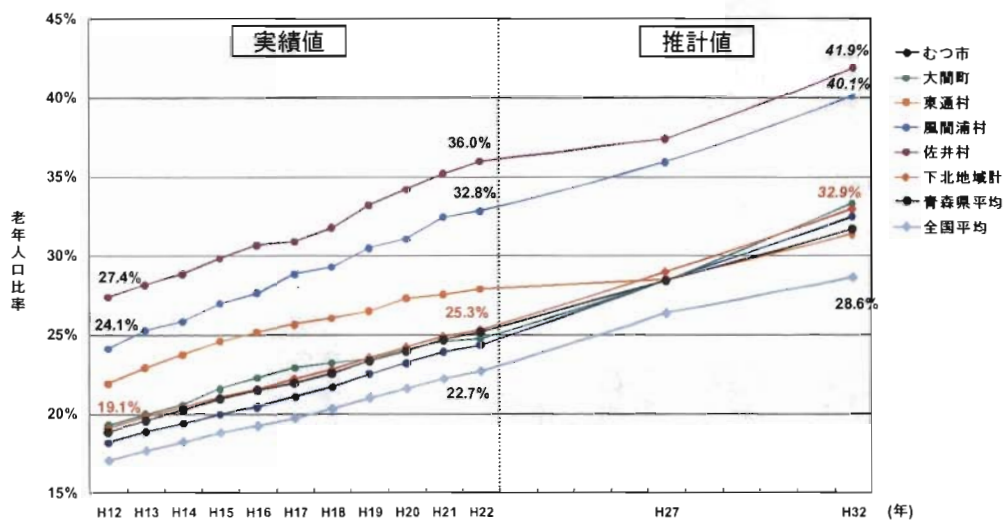


図 老年人口（65歳以上）が総人口に占める比率の推移

※出典：平成12年から平成22年は住民基本台帳による人口

平成27年、平成32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）（平成17年の住民基本台帳の人口を平成17年の国勢調査の人口で除した値を国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口に乗じて、補正して算出した人口

4. 地域資源

①産業

市町村別の産業別事業所数をみると各市町村ともほぼ同様の傾向を示しているが、産業別従業者数をみると大間町、佐井村で「建設業」、東通村では「電気・ガス・熱供給・水道業」が他の市町村と比較して高い割合となっている。

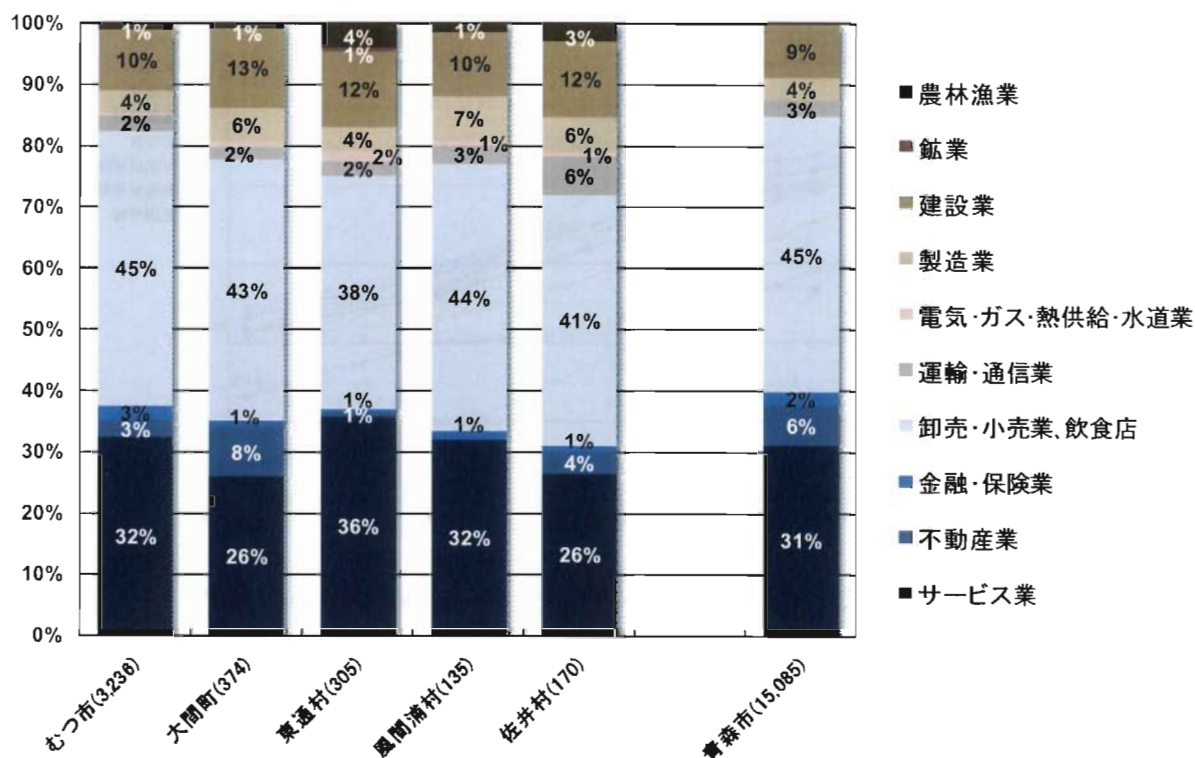


図 産業別事業所数の構成比

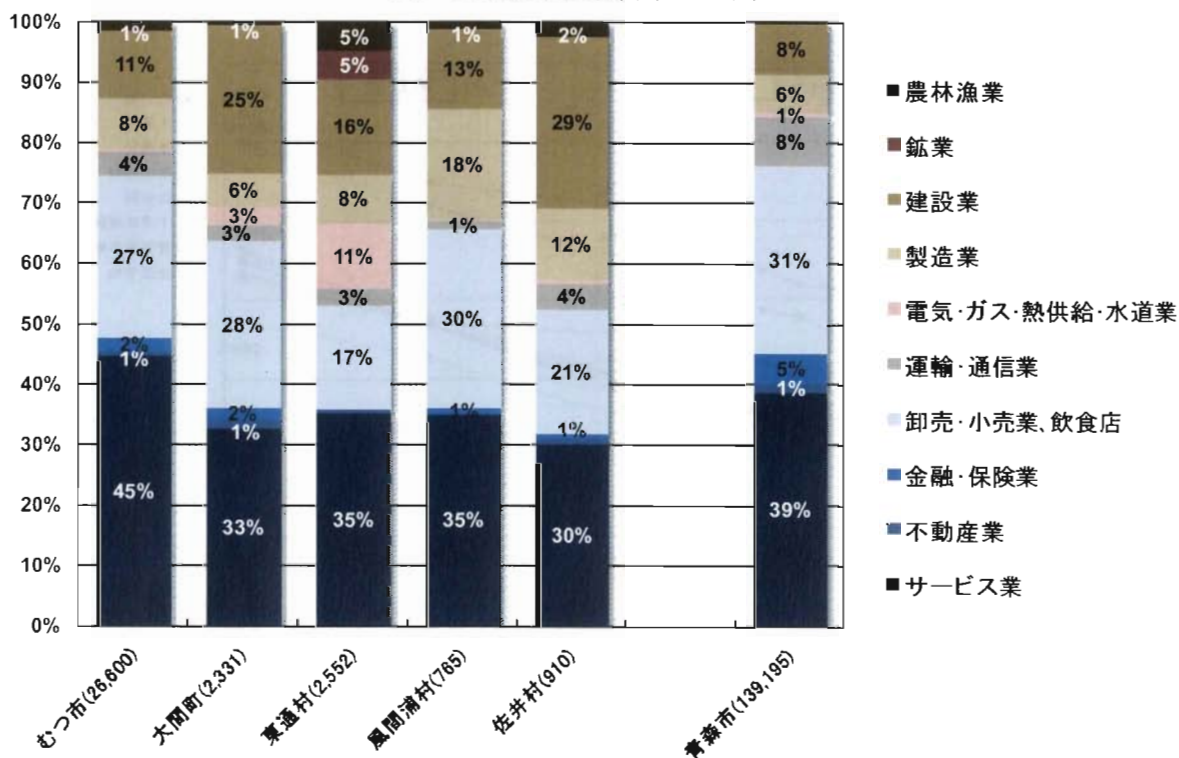


図 産業別従業者数の構成比

※出典：事業所・企業統計調査

事業所数、従業者数について、平成13年と平成18年を比較すると両者とも全体的に減少している中で、東通村の従業者数のみが若干ながら増加している。東通村の従業者数の増加は平成17年12月から運転開始した東通原子力発電所の影響と推測される。

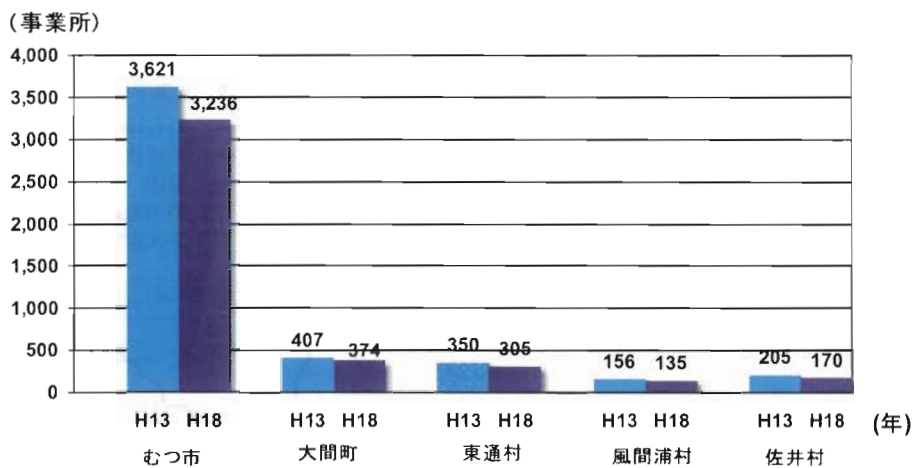


図 市町村別事業所数

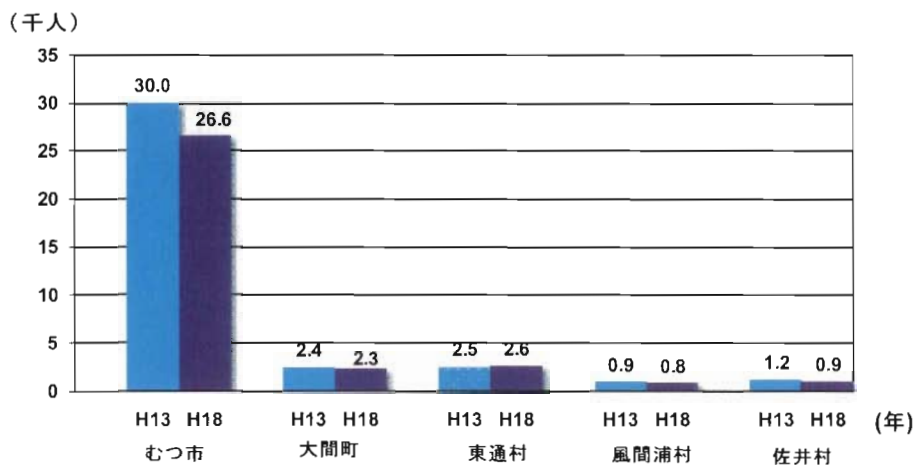


図 市町村別従業者数

※出典：事業所・企業統計調査（兩年とも10月値）

②教育施設

通学に公共交通を利用する可能性のある高等学校はむつ市に5校、大間町に1校のみで、他の村には存在しない。また、むつ市には養護学校が1校存在する。各村には高等学校がないため、市町村を跨ぐ通学が発生していると推測される。



図 市町村別教育施設数

表 市町村別教育施設数

	高等学校	養護学校	生徒数	本務教員数
むつ市	5	1	2,017	224
大間町	1	-	198	19
東通村	-	-	-	-
風間浦村	-	-	-	-
佐井村	-	-	-	-
合計	6	1	2,215	243

※出典：学校一覧 平成22年度

③病院

病院（患者 20 人以上の入院施設を有するもの）はむつ市、大間町にのみ存在するため、他の地域の住民は定期的な市町村を跨ぐ通院が発生していると推測される。

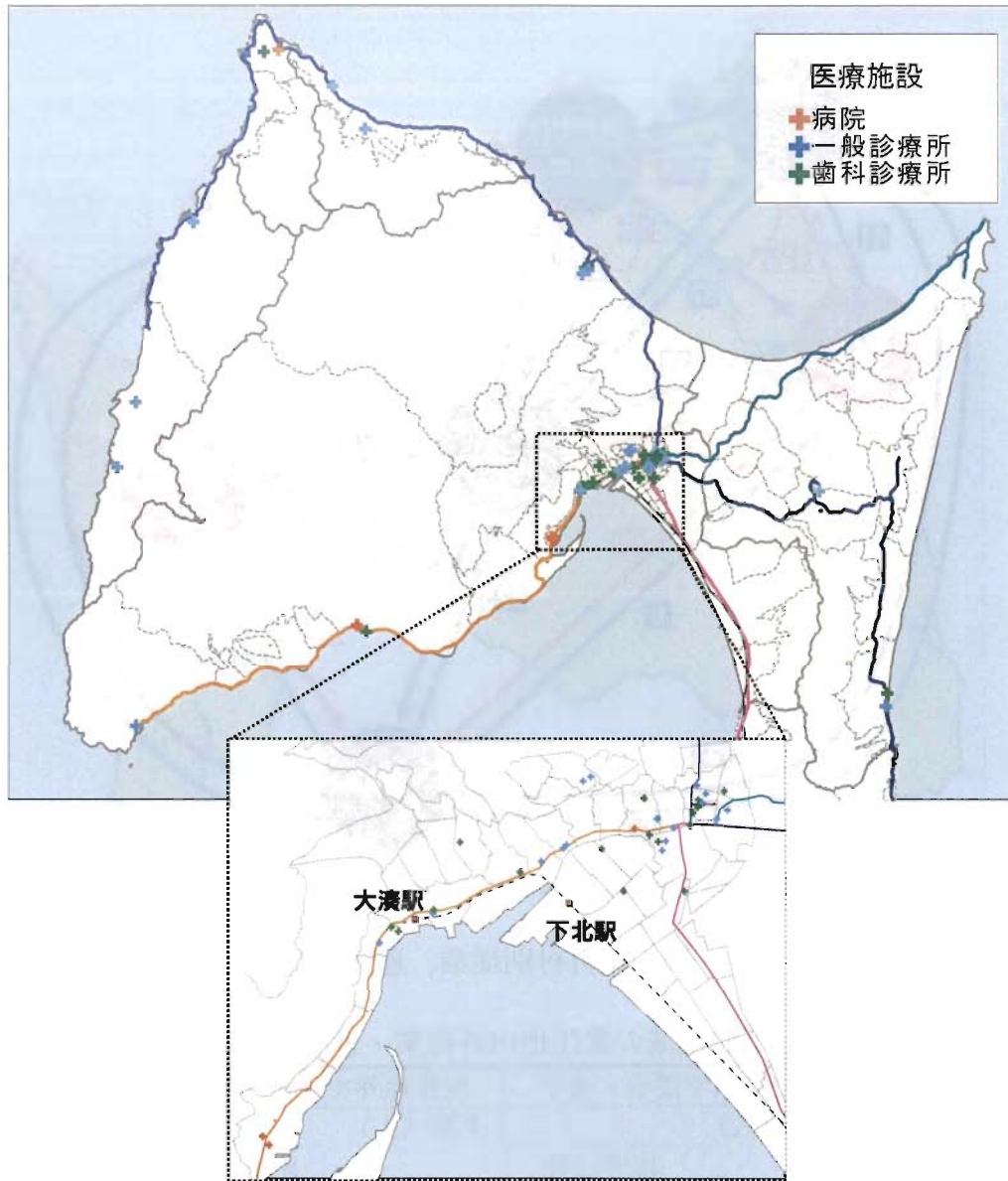


図 市町村別医療施設

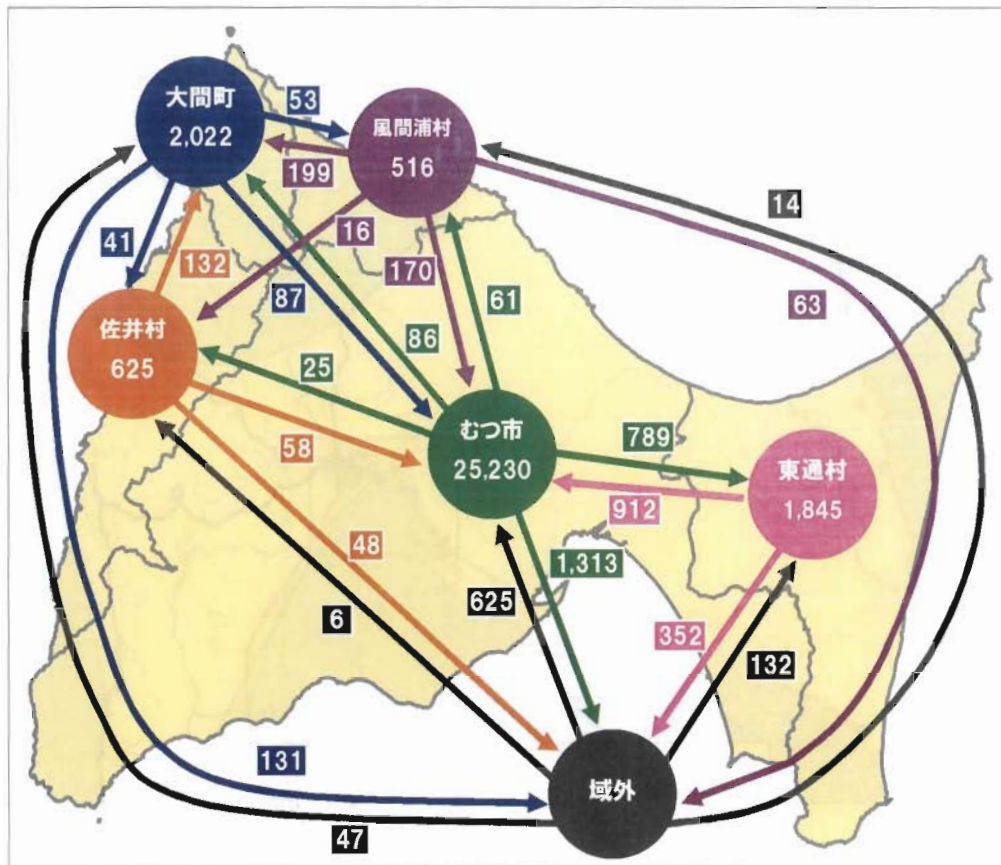
表 市町村別医療施設数

	病院	一般診療所	歯科診療所
むつ市	4	34	20
大間町	1	1	1
東通村	-	3	1
風間浦村	-	1	0
佐井村	-	3	0
合計	5	42	22

※出典：平成 20 年青森県保健統計年報

④従業、通学に伴う流動

平成17年の国勢調査によると、下北地域の5市町村で常住する通勤・通学者32.9千人（自宅内就業者、下北地域外への通勤・通学者を除く）のうち、自市町村以外の他5市町村への通勤・通学者は2.6千人（約8%）であり、風間浦村では40%以上となっている。



※円内の数値は当地内で従業・通学する者の数（自宅での従業は除く）
 ※出典：平成17年国勢調査

図 市町村別従業、通学者数

表 下北地域の常住地内外従業・通学人数、比率

	常住地内で従業・通学		常住地外で従業・通学		合計 人数(人)
	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	
むつ市	25,230	96.3	961	3.7	26,191
大間町	2,022	91.8	181	8.2	2,203
東通村	1,845	66.9	912	33.1	2,757
風間浦村	516	57.3	385	42.7	901
佐井村	625	76.7	190	23.3	815
合計	30,238	92.0	2,629	8.0	32,867

<参考>

下北地域常住者が域外へ従業・通学 人数(人)	域外常住者が下北地域内へ従業・通学 人数(人)
1,907	824

5. 交通

(1) 自動車交通

●乗用車保有台数

各市町村ともに20歳以上の1人当たりの自動車保有台数は大きく増加している。また、各市町村ともほぼ1世帯に1台の乗用車を保有していることになる。

(台/人)

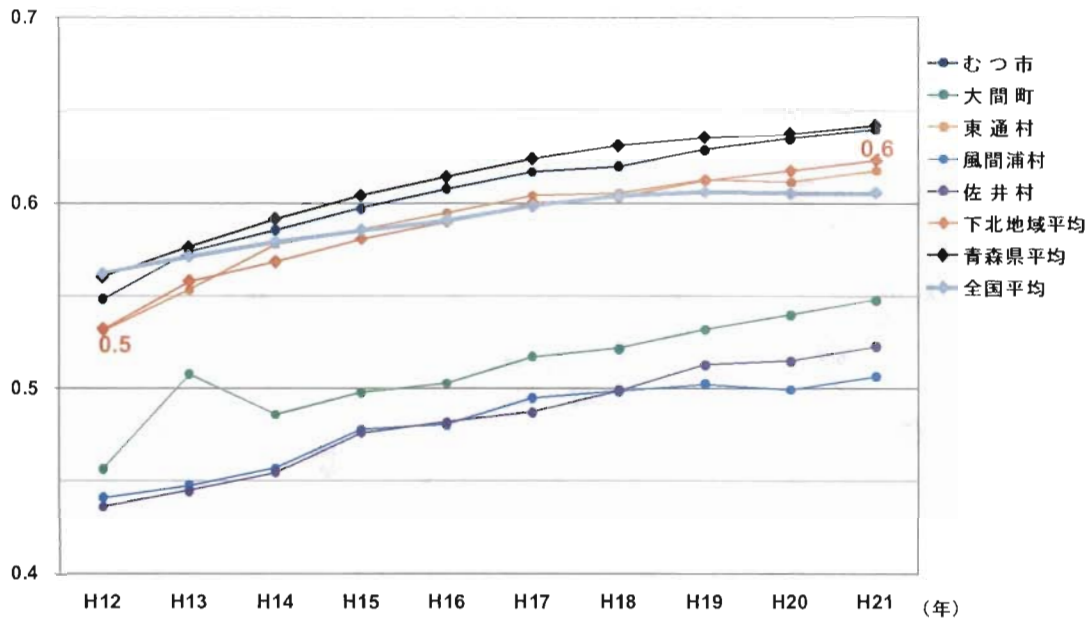


図 20歳以上の1人当たりの乗用車保有台数の推移

(台/世帯)

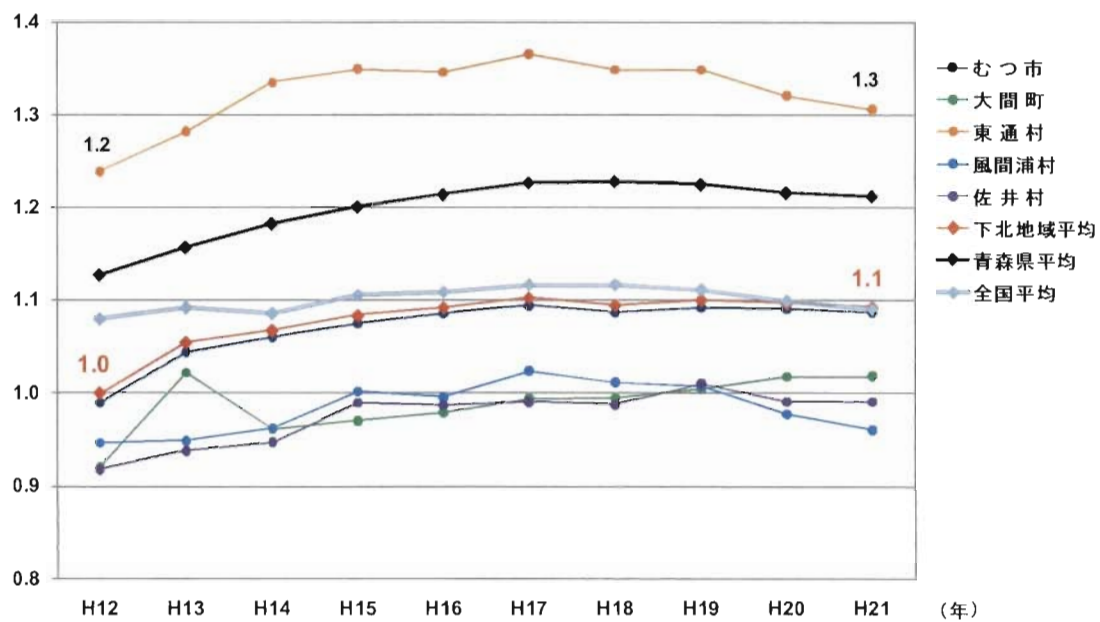


図 1世帯当りの乗用車保有台数の推移

※出典：「住民基本台帳人口要覧」、「市町村別自動車保有車両数」、「市町村別軽自動車車両数」※数値は全て3月末時点の値

●道路状況

下北半島の道路状況は斧状の柄の部分から海岸線に沿って、国道 279 号と国道 338 号が通っており、むつ市の中心市街地で交差し、海岸線沿いに大間町まで通っている。

冬期の山地部は気象条件が厳しく、道路状況も隘路となっていることから、安全上の問題から冬期通行不能区間が設定されている。



図 下北地域の冬期閉鎖道路

※出典：冬期通行不能区間：雪道安全マップ、青森県県土整備部

表 下北地域の冬期閉鎖道路

番号	路線名	閉鎖区間	区間距離 (km)	閉鎖期間※ (予定)
①	国道 338 号	佐井村野平～むつ市脇野沢源藤城	18.2	12.1～4.23
②	(主)川内佐井線	むつ市川内町湯ノ川～佐井村川目	18.5	12.1～4.23
③	薬研佐井線	むつ市大畑町赤滝山～佐井村古佐井川目	20.6	11.25～5.14
④	(主)むつ恐山公園大畑線	むつ市恐山～むつ市大畑町薬研	14.5	12.1～4.23
⑤	(主)むつ恐山公園大畑線	むつ市恐山～むつ市長坂	7.6	12.1～4.23
⑥	長坂大湊線	むつ市長坂～むつ市落野沢	3.6	12.1～4.23
⑦	村道福浦川日線	佐井村福浦川日～佐井村野平	9.7	12.1～4.23
⑧	村道川磯線	佐井村磯谷～佐井村川目	2.4	12.1～4.23

※降雪の状況によって、閉鎖期間の変更あり

(2) 公共交通

下北地域の市町村を跨ぐ公共交通機関は主に西側は海上交通と東側は陸上交通で構成されている。

海上交通は青森～佐井航路が下北地域に寄港を持つが、その他の航路は下北地域内の移動は行えず、陸上交通はむつバスターミナルを拠点とする下北交通株式会社のむつ佐井線、尻屋線、野辺地線が市町村を跨いでいるが、JR バス東北の下北本線及び JR 大湊線と接続が取れていない。季節運航や季節ダイヤ編成で連携を図るのが難しいのも現状である。

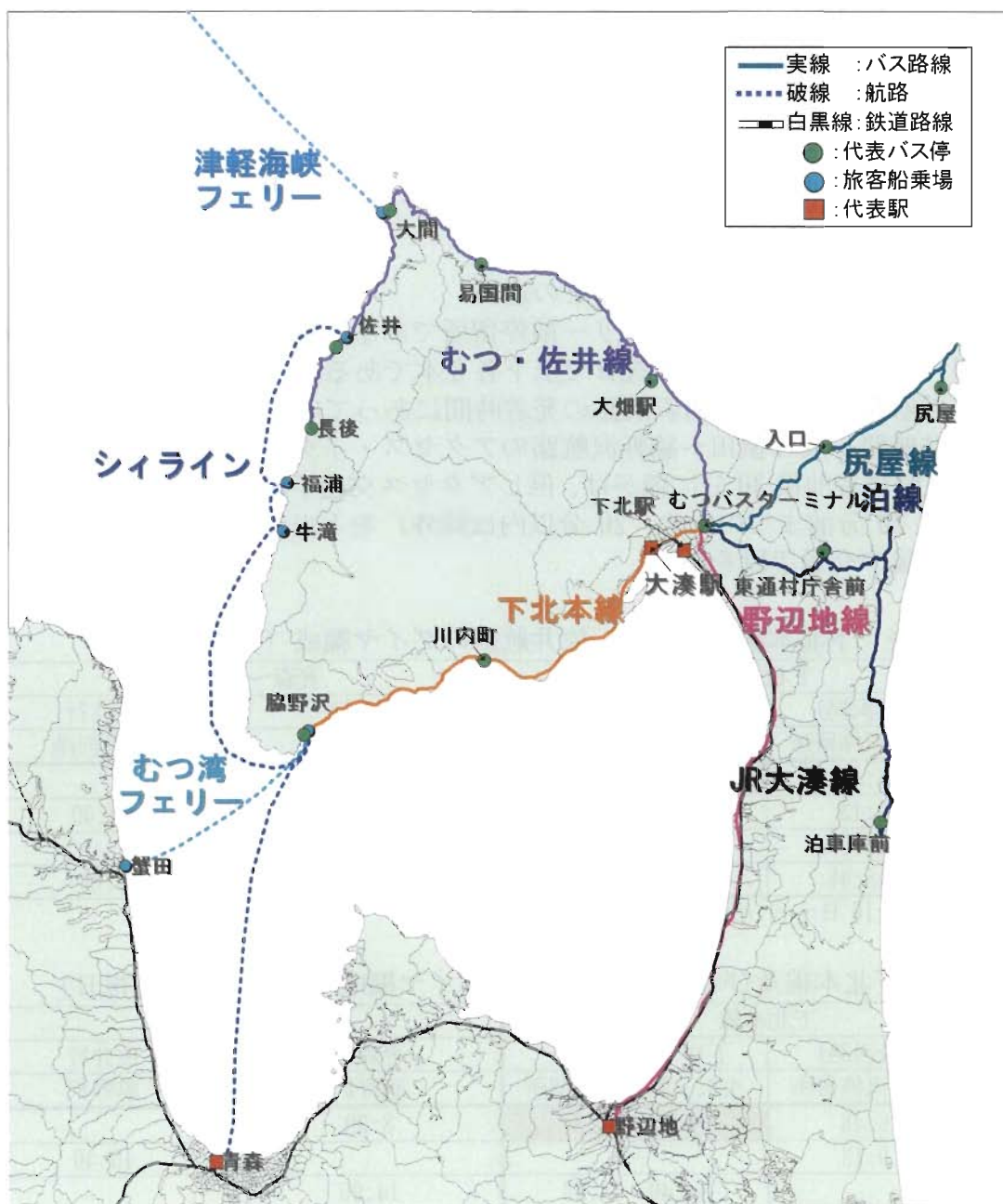


図 下北地域の市町村を跨ぐ公共交通機関

①路線バス

●下北本線（下北シーサイドライン）

下北本線はJRバス東北株式会社が運行する路線バスである。区間は田名部～脇野沢であり、営業キロは46.5kmである。

表 下北本線の輸送実績

	輸送 人員 (人)	夏季ダイヤ				冬季ダイヤ			
		平日		土・日・祝		平日		土・日・祝	
		運行 頻度 (便)	所要 時間 (分)	運行 頻度 (便)	所要 時間 (分)	運行 頻度 (便)	所要 時間 (分)	運行 頻度 (便)	所要 時間 (分)
平成19年度	210,921	46	87	35	87	35	87	36	98
平成20年度	249,807	43	87	34	87	44	97	34	97
平成21年度	236,052	40	88	33	88	48	97	33	97

※夏季は4月1日～11月30日、冬季は12月1日～3月31日

・青森～佐井航路、蟹田～脇野沢航路との連絡

脇野沢港の最寄りの停留所はフェリー前停留所である。脇野沢停留所発着のバスの運行本数は平日で上下各4本、土日・祝日で上下各3本である。

青森～佐井航路、蟹田～脇野沢航路の発着時間にあっていない現状である。

青森～佐井航路、及び蟹田～脇野沢航路のアクセス・イグレス交通手段として利用可能なバスの便（船発着前後30分に網がけ、但しアクセス交通手段として利用する場合は乗船手続きが出港20分前までのため、20分以内は除外）を下表に示す。ここでイグレス交通手段とは下船後の交通手段を指す。

表 下北本線及び青森～佐井航路のダイヤ編成（夏季、平日）

下北本線		青森～佐井航路	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	青森行	佐井行
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所	脇野沢港	脇野沢港
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13	8:30	
9:00 - 9:13	12:27 - 12:40		10:40
12:55 - 13:08	14:42 - 14:55	14:00	
15:35 - 15:48	18:54 - 19:07		16:20*

※冬期（10月16日～11月30日）は脇野沢止まり

表 下北本線及び青森～佐井航路のダイヤ編成（夏季、土・日祝日）

下北本線		青森～佐井航路	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	青森行	佐井行
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所	脇野沢	脇野沢
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13	8:30	
9:00 - 9:13	—		10:40
—	14:40 - 14:53	14:00	
15:35 - 15:48	17:59 - 18:12		16:20*

※冬期（10月16日～11月30日）は脇野沢止まり

表 下北本線及び青森～佐井航路のダイヤ編成（冬季、平日）

下北本線		青森～佐井航路	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	青森行	佐井行
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所	脇野沢港	脇野沢港
6:30 - 6:43	8:09 - 8:22	8:30	
9:10 - 9:23	12:01 - 12:14		10:40
12:40 - 12:53	14:51 - 15:04	14:00	
15:20 - 15:33	19:04 - 19:17		16:20

表 下北本線及び青森～佐井航路のダイヤ編成（冬季、土・日祝日）

下北本線		青森～佐井航路	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	青森行	佐井行
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所	脇野沢	脇野沢
6:30 - 6:43	8:09 - 8:22	8:30	
9:10 - 9:23	12:01 - 12:14		10:40
12:40 - 12:53	14:51 - 15:04	14:00	
15:20 - 15:33	18:14 - 18:27		16:20

表 下北本線及び蟹田～脇野沢航路のダイヤ編成（夏季、平日）

下北本線		蟹田～脇野沢航路（4月21日～11月5日）	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	脇野沢着	脇野沢発
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所		
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13		
9:00 - 9:13	12:27 - 12:40	10:20	10:50
12:55 - 13:08	14:42 - 14:55		
15:35 - 15:48	18:54 - 19:07	15:00	15:30

※蟹田～脇野沢航路は8月8日～8月18日を除く

表 下北本線及び蟹田～脇野沢航路のダイヤ編成（夏季、土・日祝日）

下北本線		蟹田～脇野沢航路（4月21日～11月5日）	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	脇野沢着	脇野沢発
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所		
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13		
9:00 - 9:13	—	10:20	10:50
—	14:40 - 14:53		
15:35 - 15:48	17:59 - 18:12	15:00	15:30

※蟹田～脇野沢航路は8月8日～8月18日を除く

表 下北本線及び蟹田～脇野沢航路のダイヤ編成（夏季、平日）

下北本線		蟹田～脇野沢航路（8月8日～8月18日）	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	脇野沢着	脇野沢発
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所		
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13	8:50	9:20
9:00 - 9:13	12:27 - 12:40		
12:55 - 13:08	14:42 - 14:55	11:50	13:30
15:35 - 15:48	18:54 - 19:07	16:30	17:00

表 下北本線及び蟹田～脇野沢航路のダイヤ編成（夏季、土・日祝日）

下北本線		蟹田～脇野沢航路（8月8日～8月11日）	
上り（脇野沢発）	下り（脇野沢行）	脇野沢着	脇野沢発
脇野沢 - 小沢停留所	小沢 - 脇野沢停留所		
6:35 - 6:48	8:00 - 8:13	8:50	9:20
9:00 - 9:13	—		
—	14:40 - 14:53	11:50	13:30
15:35 - 15:48	17:59 - 18:12	16:30	17:00

●むつ・佐井線

佐井線は下北交通株式会社が運行する路線バスである。区間はむつバスターミナル～佐井車庫であり、営業キロは65.4kmである。

当該路線は補助対象路線であり、国、県、市町村からバス運行対策費補助金の交付を受け、運営を行っている。

表 平成21年度バス運行対策費補助金交付額

路線名	区間	キロ程 (km)	補助金総額 (千円)	内訳			参考	
				国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	年間輸送人員 (人)	1人当たり補助額 (円/人)
むつ・佐井線	むつBT～佐井車庫	65.4	14,607	4,508.5	4,508.5	5,590.0	158,548	92

表 輸送実績

	平均運行回数 (回/日)	輸送人員 (人)	年間輸送実績			
			平均乗車キロ (km)	輸送人キロ (人キロ)	運送収入 (円)	実車走行キロ (km)
平成12年度	8.0	192,793	9.5	1,849,537	74,443,457	369,907.5
平成13年度	7.8	184,671	9.9	1,818,117	73,405,621	358,297.5
平成14年度	8.1	190,650	10.0	1,906,500	76,645,247	381,904.5
平成15年度	8.6	204,376	9.5	1,941,572	78,501,010	405,576.0
平成16年度	8.6	191,484	9.2	1,761,652	70,909,046	406,479.0
平成17年度	8.6	171,148	9.3	1,591,676	63,572,887	405,576.0
平成18年度	8.6	159,967	9.2	1,471,696	58,337,905	405,576.0
平成19年度	8.6	148,503	9.2	1,366,227	54,802,132	406,747.2
平成20年度	8.6	161,350	9.0	1,452,150	57,599,871	412,150.8
平成21年度	8.1	158,548	8.7	1,379,367	54,505,981	386,775.6

※平均運行回数は1往復を1回

・青森～佐井航路との連絡

佐井停留所を経由する佐井車庫発着のバスの運行本数は平日で上下各 8 本、土日・祝日で上下各 6 本である。青森～佐井航路のアクセス・イグレス交通手段として利用可能なバスの便（船発着前後 30 分に網がけ、但しアクセス交通手段として利用する場合は乗船手続きが出港 20 分前までのため 20 分以内は除外）を下表に示す。

表 佐井線及び青森～佐井航路のダイヤ編成

佐井線 佐井停留所発着時間		青森～佐井航路 佐井港発着時間	
上り (佐井車庫前発)	下り (佐井車庫前行)	佐井発	佐井着
5:25▲	8:37▲	7:05※	
6:25	9:52▲		
7:30	11:12		12:00
8:30	13:17		
11:25	14:32	12:35	
13:25	16:17		
15:40	18:07		
17:10▲	19:12		17:40※

▲印は日曜・祝日運休

※印は冬期（10月16日～3月31日）の運航なし

●野辺地線

野辺地線は下北交通株式会社が運行する路線バスである。区間はむつバスターミナル～野辺地駅である。

当該路線は補助対象路線であり、国、県、市町村からバス運行対策費補助金の交付を受け、運営を行っている。

表 平成 21 年度バス運行対策費補助金交付額

路線名	区間	キロ程 (km)	補助金総額 (千円)	内訳			参考	
				国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	年間輸送人員 (人)	1人当たり補助額 (円/人)
野辺地線	むつBT～野辺地駅	56.4	15,255	5,867.5	5,867.5	3,520.0	98,403	155

表 輸送実績

	平均運 [*] 行回数 (回/日)	輸送人員 (人)	年間輸送実績			
			平均乗車キロ (km)	輸送人キロ (人キロ)	運送収入 (円)	実車走行キロ (km)
平成 12 年度	9.0	247,826	10.2	2,540,047	72,867,941	368,122.8
平成 13 年度	8.9	225,091	10.3	2,324,013	66,791,858	362,200.8
平成 14 年度	8.7	213,996	10.4	2,225,558	63,818,438	362,200.8
平成 15 年度	8.8	204,332	10.6	2,165,919	62,135,513	362,313.6
平成 16 年度	8.7	172,266	10.8	1,860,472	52,580,754	363,216.0
平成 17 年度	8.2	146,540	10.8	1,582,632	45,282,504	341,671.2
平成 18 年度	7.8	131,108	11.0	1,442,188	41,011,609	321,254.4
平成 19 年度	7.3	120,362	11.1	1,336,018	37,963,944	302,416.8
平成 20 年度	6.8	113,779	11.7	1,331,214	37,764,831	284,707.2
平成 21 年度	6.5	98,403	12.0	1,180,836	33,281,439	271,622.4

※平均運行回数は1往復を1回

●泊線

泊線は下北交通株式会社が運行する路線バスである。区間はむつバスターミナル～泊車庫である。

当該路線は補助対象路線であり、国、県、市町村からバス運行対策費補助金の交付を受け、運営を行っている。

表 平成 21 年度バス運行対策費補助金交付額

路線名	区間	キロ程 (km)	補助金総額 (千円)	内訳			参考	
				国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	年間輸送人員 (人)	1人当たり補助額 (円/人)
泊線	むつ BT～泊車庫	57.4	8,257	2,337.0	2,337.0	3,583.0	75,465	109

表 輸送実績

	平均運 [※] 行回数 (回/日)	輸送人員 (人)	年間輸送実績			
			平均乗車キロ (km)	輸送人キロ (人キロ)	運送収入 (円)	実車走行キロ (km)
平成 12 年度	2.0	37,368	9.0	336,686	14,902,590	67,337.2
平成 13 年度 [※]	2.0	20,643	9.2	189,915	8,365,152	33,520.2
平成 14 年度	5.6	56,760	10.4	590,304	24,891,523	118,473.6
平成 15 年度	5.6	106,502	10.1	1,075,670	45,962,982	235,454.8
平成 16 年度	5.6	93,770	10.6	993,962	41,787,867	235,914.0
平成 17 年度	5.6	82,457	10.9	898,781	37,647,845	235,454.8
平成 18 年度	5.6	85,883	10.3	884,594	37,075,408	235,454.8
平成 19 年度	5.6	90,284	9.7	875,754	36,788,552	235,225.2
平成 20 年度	5.6	85,014	10.0	850,140	35,657,438	235,914.0
平成 21 年度	5.3	75,465	10.1	762,196	31,857,028	224,491.4

※平均運行回数は1往復を1回

※平成 13 年度は 182 日分の実績

●尻屋線

尻屋線は下北交通株式会社が運行する路線バスである。区間はむつバスターミナル～尻屋である。

当該路線は補助対象路線であり、国、県、市町村からバス運行対策費補助金の交付を受け、運営を行っている。

表 平成 21 年度バス運行対策費補助金交付額

路線名	区間	キロ程 (km)	補助金総額 (千円)	内訳			参考	
				国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	年間輸送人員 (人)	1人当たり補助額 (円/人)
尻屋線	むつBT～尻屋	29.1	2,978	893.5	893.5	1,191.0	31,383	95

表 輸送実績

	平均運 [※] 行回数 (回/日)	輸送人員 (人)	年間輸送実績			
			平均乗車キロ (km)	輸送人キロ (人キロ)	運送収入 (円)	実車走行キロ (km)
平成 12 年度	6.0	70,965	8.1	580,548	29,448,588	116,109.6
平成 13 年度 [※]	6.0	35,477	8.7	3,088,649	15,363,048	56,397.0
平成 14 年度	4.8	52,679	9.8	516,254	25,665,863	101,594.5
平成 15 年度	4.8	39,271	11.1	435,908	21,678,725	101,455.5
平成 16 年度	4.7	43,266	10.4	449,966	21,739,959	101,484.2
平成 17 年度	5.0	33,896	10.9	369,466	18,090,818	106,738.4
平成 18 年度	5.1	36,169	10.8	390,625	19,054,183	109,571.6
平成 19 年度	5.0	37,875	10.0	378,750	18,521,924	106,769.5
平成 20 年度	5.0	33,298	10.3	342,969	16,764,093	107,090.0
平成 21 年度	5.0	31,383	10.6	332,659	16,073,121	106,623.6

※平均運行回数は1往復を1回

※平成 13 年度は 182 日分の実績

②その他の道路交通機関

●佐井村コミュニティバス

佐井村コミュニティバスは下北交通株式会社、有限会社川内交通が事業者として平成20年4月から、大間病院までの通院患者輸送手段として、運行を開始した。

区間は大間病院ルートが福浦～大間病院前、川内病院前ルートが川内病院～牛滝である。

表 輸送実績

	下北交通㈱		㈱川内交通	
	輸送日数 (日)	輸送人員 (人)	輸送日数 (日)	輸送人員 (人)
平成20年度	244	8,764	51	226
平成21年度	245	10,839	50	254

●デマンド型乗合タクシー

デマンド型乗合タクシーは廃止された下北交通株式会社の路線バス「薬研・小目名線」に代わる交通手段として、有限会社大畑タクシーが運行している。1日6便の運行があるが、予約のない便は運行しない。奥薬研地区～高橋川地区は希望場所で乗降可能である。

表 時刻表

	奥薬研温泉地区	薬研温泉地区	小目名地区	高橋川地区	大畑診療所	旧大畑駅	大畑庁舎
1便	7:23	7:28	7:37	7:40	7:48	7:50	7:51
3便	9:03	9:08	9:17	9:20	9:28	9:30	9:31
5便	12:28	12:33	12:42	12:45	12:53	12:55	12:56

	大畑庁舎	旧大畑駅	大畑診療所	高橋川地区	小目名地区	薬研温泉地区	奥薬研温泉地区
2便	8:29	8:30	8:32	8:40	8:43	8:52	8:57
4便	11:54	11:55	11:57	12:05	12:08	12:17	12:22
6便	15:49	15:50	15:52	16:00	16:03	16:12	16:17

表 運賃表

	薬研地区			奥薬研地区
	小目名地区		400	運行なし
	高橋川地区	200	500	600
	大畑庁舎 旧大畑町 大畑診療所	300	400	800
				1,000

※ 一人当たり運賃 (円)

※

表 輸送実績

	運行本数 (本)	輸送人員 (人)
平成22年8月2日～8月31日	12	25
平成22年9月1日～9月13日	5	5

●佐井村ボランティア輸送（過疎地有償運送、福祉有償運送）

佐井村ボランティア輸送は住民ボランティア運転手が会員登録をした利用者の予約に応じて、自宅と目的地の間の送迎を行うシステムで、平成17年11月より運行を開始した。

表 佐井村ボランティア輸送

予約センター	佐井村社会福祉協議会内に設置
予約方法	電話で依頼（予約締切：利用前日 15：00）
運転協力者	18人（平成17年11月1日現在）
利用会員登録	197人（平成17年11月1日現在）
会員登録方法	氏名、住所を予約センターへ申請
料金体系	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送1契約につき300円 ・実車走行キロ2kmあたり、100円づつ加算 ・通常料金と相乗り料金を設定
移動範囲	制限なし（青森県内を想定）

表 輸送実績

	年間輸送実績		
	過疎地有償運送 (人)	福祉有償運送 (人)	合計 (人)
平成17年度	469	2,705	3,175
平成18年度	938	1,704	2,642
平成19年度	711	2,074	2,785
平成20年度	567	1,856	2,423
平成21年度	425	1,648	2,073

③鉄道

●大湊線

大湊線は東日本旅客鉄道株式会社が運営、運行する鉄道路線である。野辺地町の野辺地駅から JR 東北本線から分岐し、むつ市の大湊駅までを結んでいる。延長 58.4km の全区間が単線である。東北新幹線全線開業にあわせ、起点の野辺地駅は青い森鉄道へ移管される。

・運行状況

運行本数は上下方向ともに各 9 本/日で、朝夕のピーク時間帯は 1 時間に 1 本、オフピーク時間帯は 2 時間に 1 本程度である。上り方向の 3 便が青森駅まで直通運転の快速列車、1 本が八戸駅までの直通運転の快速列車である。下り方面 1 便が青森駅からの直通運転の快速列車、1 本が八戸駅からの直通運転の快速列車である。

・輸送実績

下北駅と大湊駅の券種別乗降人員をみると下北駅では平成 17 年度以降、定期・定期外利用者ともにほぼ横ばいであるが、大湊駅では平成 18 年度から定期利用者はやや減少傾向にあるものの定期外利用者が大幅に増加している。

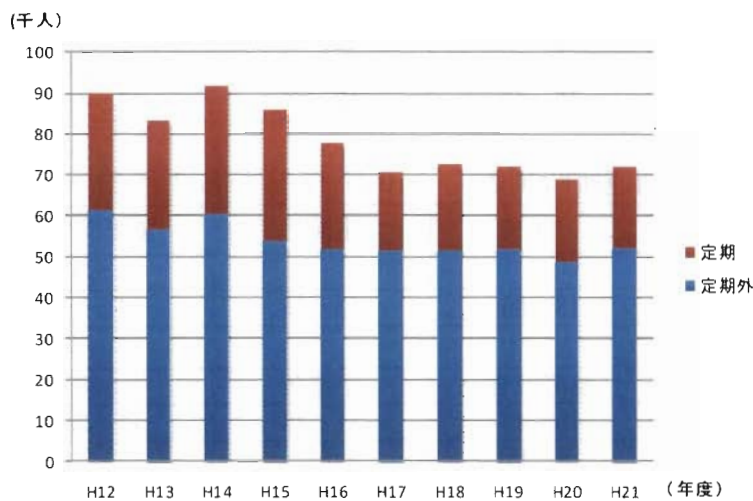


図 下北駅券種別乗降人員の推移

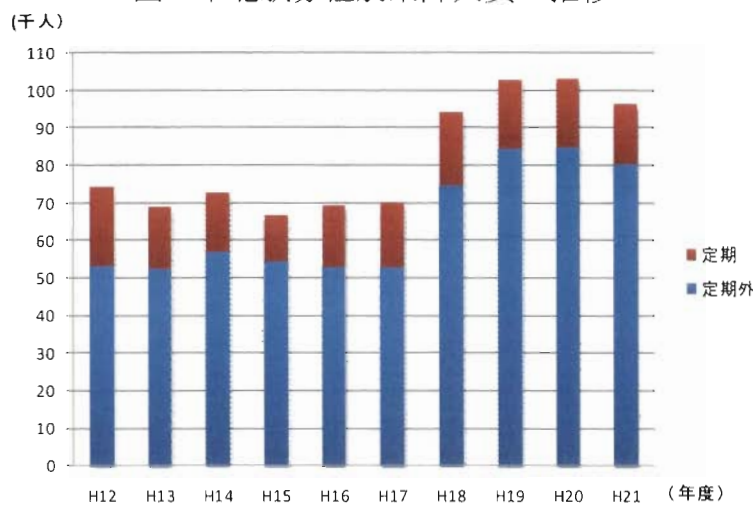


図 大湊駅券種別乗降人員の推移

④旅客船

●青森～佐井航路

青森～佐井航路は青森市とむつ市脇野沢、佐井村を結ぶ高速船による定期航路である。平成18年1月1日に下北汽船株式会社より当該航路を譲渡され、シライイン株式会社（第3セクター）が運営している。

離島航路に指定されており、冬期間中に閉鎖される国道338号のむつ市脇野沢～佐井村牛滝間を補完している。

・運航状況

夏期（4月1日～10月15日）は青森～佐井間を4便/日であるが、冬期（10月16日～3月31日）は4便/日のうち2便が青森～脇野沢間のみの運航となる。自転車、原動機付き自転車の積み込みが別料金で可能である。

表 夏期運航時刻表（4月1日から10月15日まで）

	佐井発	福浦発	牛滝発	脇野沢発	青森着
1 便	7:05	7:30	7:45	8:30	9:25
3 便	12:35	13:00	13:15	14:00	14:55
	青森発	脇野沢発	牛滝発	福浦発	佐井着
2 便	9:40	10:40	11:20	11:35	12:00
4 便	15:20	16:20	17:00	17:15	17:40

表 冬期運航時刻表（10月16日から3月31日まで）

	佐井発	福浦発	牛滝発	脇野沢発	青森着
1 便	—	—	—	8:30	9:25
3 便	12:35	13:00	13:15	14:00	14:55
	青森発	脇野沢発	牛滝発	福浦発	佐井着
2 便	9:40	10:40	11:20	11:35	12:00
4 便	15:20	16:15着	—	—	—

表 旅客運賃表

				佐井
			福浦	1,420
		牛滝	760	1,730
	脇野沢	2,240	2,340	2,640
青森	2,540	3,260	3,360	3,460

・輸送実績

利用者数の推移をみると平成20年度は岩手・宮城内陸地震(平成20年6月14日発生)の影響により、団体割引(観光客)利用者が減少したものの平成21年度は再び増加している。輸送貨荷物は減少傾向にある。

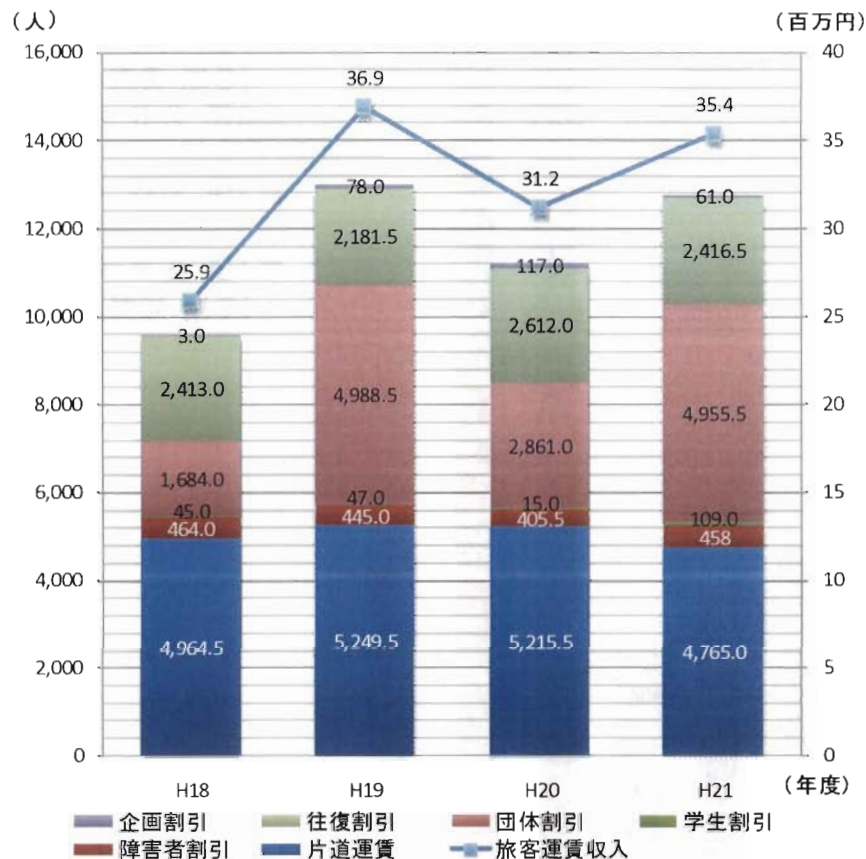


図 券種別利用者数・旅客運賃収入の推移

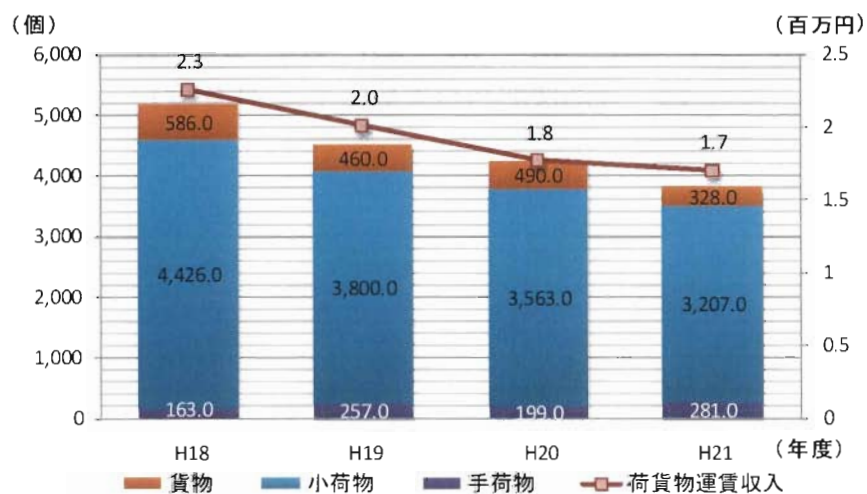


図 輸送貨荷物・荷貨物運賃収入の推移

※出典：シライイン株式会社決算報告書

平成 21 年度の月別便別の利用者数をみると 8 月、9 月の 2 便（青森 9:40 発）が圧倒的に多い。冬期運航期間中は 1 便（脇野沢 8:30 発）の利用が多い。

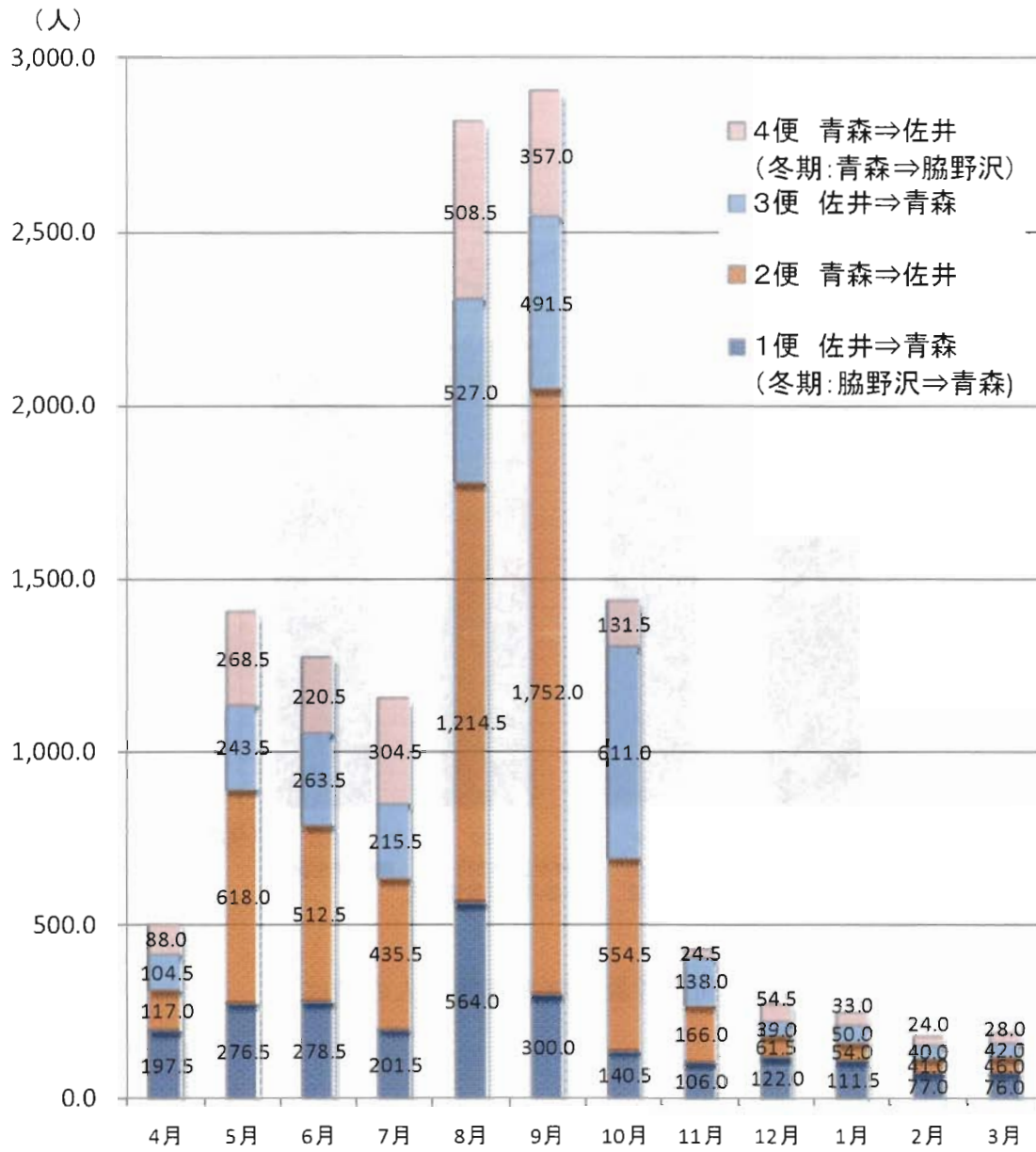


図 月別便別利用者数（平成 21 年度）

●蟹田～脇野沢航路

蟹田～脇野沢航路は平成18年1月1日に青森～佐井航路をシライイン株式会社へ譲渡し、現在の航路となった。同年7月1日に下北汽船株式会社からむつ湾フェリー株式会社（第3セクター）へ商号の変更を行った。

・運航状況

季節運航（4月21日～11月5日）で通常は蟹田～脇野沢間を4便/日、お盆の前後期間（8月8日～8月18日）には6便/日の運航となる。自転車、原動機付き自転車、二輪自動車、自動車の航送が可能である。

表 運航時刻表（4月21日～8月7日、8月19日～11月5日）

	蟹田発	脇野沢発		脇野沢発	蟹田着
1 便	9:20	10:20	2 便	10:50	11:50
3 便	14:00	15:00	4 便	15:30	16:30

※運航期間は平成22年度参照

表 運航時刻表（8月8日～8月11日）

	蟹田発	脇野沢発		脇野沢発	蟹田着
1 便	7:50	8:50	2 便	9:20	10:20
3 便	10:50	11:50	4 便	13:30	14:30
5 便	15:30	16:30	6 便	17:00	18:00

※運航期間は平成22年度参照

表 運賃表

	大人	小人
	1,420	710

・輸送実績

利用者数の推移をみると平成20年度は岩手・宮城内陸地震(平成20年6月14日発生)の影響により、利用者が減少したものの平成21年度は再び増加している。自動車航送台数も同様の推移を示している。

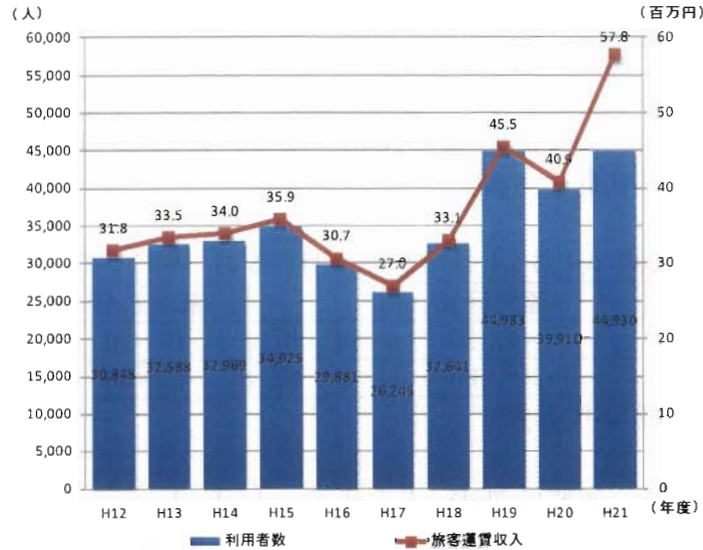


表 利用者数・旅客運賃収入の推移

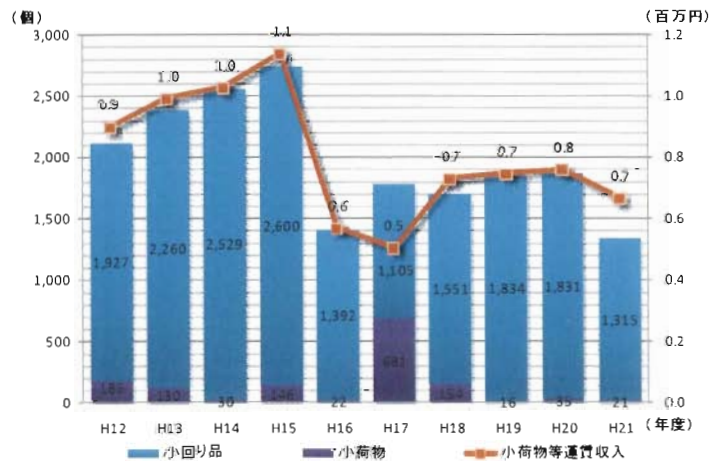


図 自動車航送台数等、運賃収入の推移

6. 観光

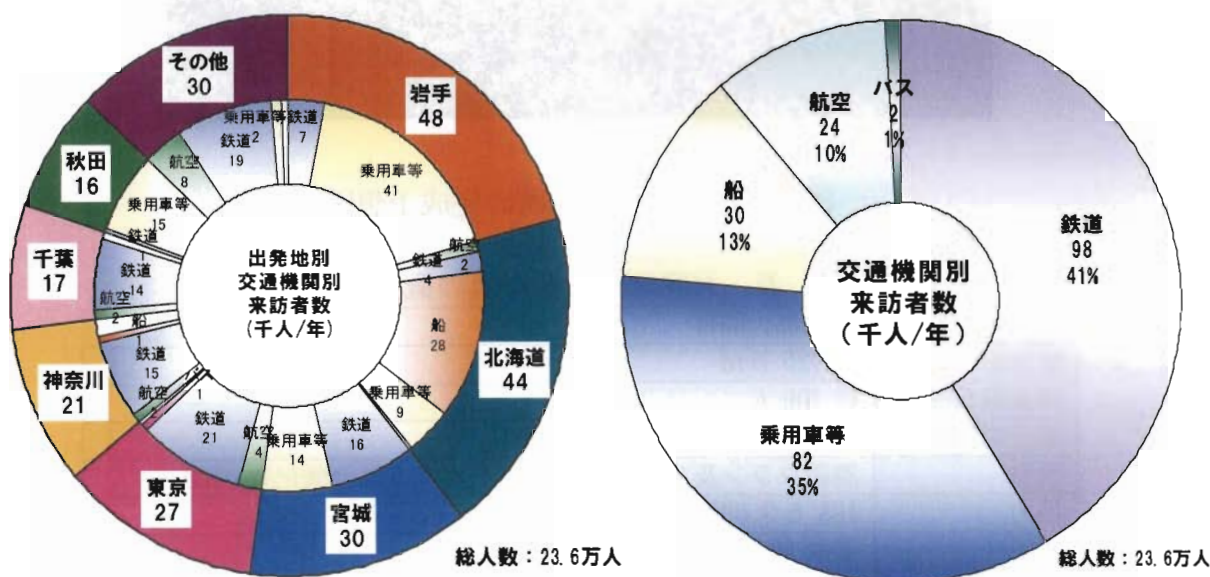
平成 17 年度全国幹線旅客純流動調査によると、下北地域を訪れる者(青森県内居住者は除く)は年間で約 23 万 6 千人である。

出発地別にみると岩手県からの来訪者は年間約 4 万 8 千人で、うち約 4 万 1 千人(約 85%)が乗用車等の利用である。

宮城県からの来訪者は年間約 3 万人で鉄道を利用して来訪した者が約 1 万 6 千人(約 53%)、乗用車等を利用して来訪した者が約 1 万 4 千人(約 47%)とほぼ同程度の割合である。

東京都からの来訪者は年間約 2 万 7 千人で、うち約 2 万 1 千人(約 78%)が鉄道利用である。

交通機関別にみると鉄道利用が約 9 万 8 千人(約 41%)、乗用車等利用が 8 万 2 千人(約 35%)となっている。平成 22 年 12 月には、東北新幹線が新青森駅まで延伸し、鉄道利用での青森県への来訪者がさらに増加すると予測されることから、下北地域内において観光客の周遊行動やニーズを把握した上で、下北地域への観光客の増加に資するような公共交通サービスについて検討する。



※出典：平成 17 年度全国幹線旅客純流動調査 全国 207 ゾーンによる集計結果

図 出発地別、交通機関別来訪者数

7. 開発計画

・大間原子力発電所

大間原子力発電所は、電源開発株式会社（JPOWER）が下北郡大間町に 138.3 万 kW の改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）を建設する計画である。平成 20 年 5 月に着工され、平成 26 年 11 月の運転開始予定である。

現在、建設等に関わっている作業員が約 1,400 人である。



図 大間原子力発電所の完成予想図

表 大間原子力発電所の概要

所在地	下北郡大間町
敷地面積	約 130 万㎡
従業員数	約 400 人
原子炉型式	改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR)
燃料	濃縮ウラン及びウラン・プルトニウム混合酸化物 (MOX)
出力	138 万 3,000kW
着工	平成 20 年 5 月
燃料装荷	平成 25 年 12 月予定
運転開始	平成 26 年 11 月予定

移動実態アンケート調査実施計画（案）

1. アンケート調査の項目と内容

(1) 目的

下北地域内の住民の移動実態及び生活交通ニーズ、そのうち、公共交通が担うべき生活交通ニーズ等を把握するとともに、特に、通勤・通学の他にも通院・買物・私事等の生活交通の実態を調査し、地域住民が公共交通機関を生活の中で「どのように利用」し、また「なぜ利用しないのか」という、既存のデータからは分かり得ない実態を把握し、公共交通機関の需要喚起策の基礎データとすることを目的とする。

(2) アンケート概要

以下にアンケート調査の対象者・主旨・内容を示す。

対象者	主旨	内容
下北地域の住民	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、非利用者の交通機関利用実態、サービス改善による利用意向 ・現在、公共交通機関を利用していない住民の利用していない理由やサービス改善に対する要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、住所、職業、勤務先、自動車利用環境、送迎環境 ・日常の市町村を跨ぐ外出頻度、目的、利用交通手段、所要時間等 ・公共交通機関の非利用理由 ・公共交通機関へのサービス改善施策

2. 移動実態アンケート調査

(1) ねらい

移動実態アンケート調査でのねらいを以下に示す。

- ① 公共交通機関の利用者・非利用者の交通利用実態を把握するとともに、求められるサービス改善を把握する。
- ② 特に公共交通機関を利用していない住民も調査の対象とし、利用していない理由やサービス改善に対する要望を検討・分析するための資料とする。

(2) 実施方法等

1) 調査対象範囲

下北地域の全域を対象とする。対象地域の総人口は約8万3千人であり、総世帯数は約3万6千世帯である。このうち、15歳以上の人口は約7万2千人であり、1世帯当たり平均約2人の居住となる。また、むつ市は広域なため、むつ地区、大畑地区、川内地区、脇野沢地区の4地区に細分化し、調査を実施する。



図 アンケート調査対象地域

図 アンケート調査対象地域の人口及び世帯数

対象地域	総人口 (人)	15歳以上人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たり15歳以上人員 (人)
むつ市	64,247	55,711	28,849	1.9
大間町	6,210	5,323	2,483	2.1
東通村	7,403	6,520	2,725	2.4
風間浦村	2,475	2,232	1,033	2.2
佐井村	2,494	2,238	1,039	2.2
計	82,829	72,024	36,129	(5市町村平均)2.0

2) 調査票の配布票数

① むつ市むつ地区（大湊地区+田名部地区）

むつ市むつ地区の15歳以上人口は41,994人（平成21年9月末現在）であり、抽出率を1%とすると標本数（＝目標回収票数）は420人（票）となる。標本数を回収するためには、予想回収率を20%と設定した場合に2,100票の配布が必要となる。むつ市の一世帯当たりの平均人員が2人であることから一世帯当たりに2票を配布する。配布世帯数は約1,050世帯となる。

表 アンケート配布世帯数、及び配布票数

調査圏域	㉑15歳以上人口	㉒標本数 [㉑×1%]	㉓予想 回収率	㉔配布票数 [㉒÷㉓]	㉕配布世帯数 [㉔÷2票]
むつ市 むつ地区	41,994人	420票	20%	2,100票	1,050世帯

出典：データむつ2010

② むつ市（大畑地区、川内地区、脇野沢地区）大間町、東通村、風間浦村、佐井村

地域全域の住民の移動実態を把握するために各集落から満遍なく標本を抽出する。そのため、各字の〇世帯に対して調査票を配布する。下北地域のむつ市むつ地区を除いた地域の一世帯当たりの平均人員が2人であることから一世帯当たりに2票を配布する。

表 アンケート配布世帯数、及び配布票数（調整中）

調査圏域	㉑字数	㉒配布世帯数 [〇世帯×㉑]	㉓配布票数 [2票×㉒]	㉔予想 回収率	㉕標本数 （＝目標回収票数） [㉓×㉔]
むつ市 大畑地区		世帯	票	40%	票
むつ市 川内地区		世帯	票	40%	票
むつ市 脇野沢地区		世帯	票	40%	票
大間町		世帯	票	40%	票
東通村		世帯	票	40%	票
風間浦村		世帯	票	40%	票
佐井村		世帯	票	40%	票
計		世帯	票		票

3) 調査対象者への配布方法

① むつ市むつ地区（大湊地区+田名部地区）

- ・むつ市が住民基本台帳からむつ地区の下表の世帯数を抽出する。
- ・むつ市が抽出した調査対象者の宛名シールを作成し、送信用封筒（むつ市の封筒）に貼付する。（個人情報保護の観点から、調査委託先が調査対象者を特定できない様、宛名シールの作成・貼付はむつ市に依頼）
- ・調査委託先が調査協力依頼文、調査票、返信用封筒（切手不要）を用意し、むつ市へ送付する。
- ・むつ市は送付されてきた調査票等を送信用封筒に封入する。
- ・調査対象者へ郵送配布する。

表 むつ市むつ地区の町内別抽出世帯数

町名	抽出する世帯数	町名	抽出する世帯数
本町	2	金曲三丁目	14
田名部町	5	大曲一丁目	17
柳町一丁目	8	大曲二丁目	4
柳町二丁目	13	大曲三丁目	3
柳町三丁目	15	一里小屋、南那古平、清平	7
柳町四丁目	15	名古平	1
新町	56	南関根	7
横迎町一丁目	20	北関根	8
横迎町二丁目	19	高梨	1
上川町	20	水川目	1
小川町一丁目	30	美付、浜関根	6
小川町二丁目	17	出戸	3
栗山町	12	川代	4
女館	7	鳥沢	8
尻釜	1	新田	1
宮ノ後	1	上新田、大室平	5
樺山	4	金谷沢	4
赤坂	13	神山、二又	1
土手内	11	今泉	1
斗南丘	3	石蔵平、奥内	6
最花	3	浜奥内	3
品ノ木	22	近川	13
酪農	1	中野沢	7
岩菜、松山町	17	中野沢開拓	1
緑ヶ丘	15	山田町	31
十二林	7	浜森町	14
美里町	3	荒川町	13
長坂	1	真砂町	1
金谷一丁目	18	文京町	21
金谷二丁目	12	旭町	22
金谷団地	11	並川町	21
中央一丁目	5	大平町	32
中央二丁目	21	大湊新町	25
越葉沢	1	大湊浜町	14
海老川町	35	大湊上町	15
昭和町	28	川守町	24
緑町	23	宇田町	15
下北町	20	桜木町	31
仲町	32	宇曾利川	4
若松町、港町	16	堺田	1
南町	10	新城ヶ沢	6
赤川町	4	城ヶ沢	4
松原町	5	泉沢	2
南赤川町	1	永下	1
苔生町一丁目	7	近沢	1
苔生町二丁目	10	魚達	4
金曲一丁目	28	田名部地区小計	756
金曲二丁目	12	大湊地区小計	302
		計	1,058

田名部地区
756 世帯

大湊地区
302 世帯

※複数の町名が記載されている場合の複数町内あわせた合計の世帯数

- ② むつ市（大畑地区、川内地区、脇野沢地区）大間町、東通村、風間浦村、佐井村
- ・調査委託先が調査協力依頼文、調査票を封筒に封入したものと、行政連絡員人数分の「行政連絡員への調査協力依頼文」を用意し、各自治体へ送付する。
 - ・各自治体は送付されてきた調査票入り封筒を各字の○世帯に対して配布できる様に広報誌に挿み、各行政連絡員（大間町は各町内会）に配分する。
 - ・広報誌とセットにした調査票入り封筒を行政連絡員等に渡し、「行政連絡員への調査協力依頼文」をもって調査への協力を得る。
 - ・行政連絡員等は調査票とセットになった広報誌を配布する。（各字の○世帯は無作為抽出のため、セットになった調査票は世帯を選ばず配布する。）

4) 調査票の回収方法

- ① むつ市むつ地区（大湊地区+田名部地区）
- ・調査対象者が調査票に記入後、返信用封筒（着払い）に封入し、調査委託先に郵送する。
- ② むつ市（大畑地区、川内地区、脇野沢地区）大間町、東通村、風間浦村、佐井村
- ・調査対象者が調査票に記入後に配布時の封筒に入れ、次回行政連絡員等が訪問した際に回収する。
 - ・行政連絡員等は回収した調査票入り封筒を各自治体へ渡す。
 - ・各自治体は回収した調査票入り封筒を調査委託先に送付（着払い）する。

5) 配布・回収期間

配布は各市町村の12月初旬の広報誌配布日とし、回収は次回訪問日とする。（調整中）

調査圏域	調査票到着日	配布日	回収日	備考
むつ市むつ地区	12月〇日	12月15日	12月24日	
むつ市大畑、川内、脇野沢地区	12月〇日	12月15日	12月28日	広報誌を月2回発行
大間町	12月〇日	12月〇日	12月〇日	
東通村	12月〇日	12月〇日	12月〇日	広報誌を月2回発行
風間浦村	12月〇日	12月8日	12月〇日	
佐井村	11月〇日	12月1日	12月15日	

6) 調査票

別紙「移動実態アンケート調査票(案)」参照

7) 行政連絡員への調査協力依頼文（むつ市脇野沢地区の場合）

行政連絡員各位

この度は下北地域公共交通総合連携計画を作成のためのアンケート調査票の配布、回収にご協力いただき、誠にありがとうございます。

下記にアンケート調査票の配布・回収について記載させていただきましたので、ご一読の程、宜しくお願い致します。

調査主体 下北地域公共交通総合連携協議会
作業協力 社会システム株式会社

移動実態に関するアンケート実施にあたってのお願い

1. 調査概要

アンケート調査の目的は①公共交通機関の利用者・非利用者の移動実態を把握するとともに、求められるサービス改善を把握すること、②特に公共交通機関を利用していない住民の方々も調査の対象とし、利用していない理由やサービス改善に対する要望を検討・分析することです。

この調査結果は下北地域公共交通総合連携協議会において、地域公共交通総合連携計画を作成のための基礎データとします。

アンケート調査票は下北地域全域の住民の方々の移動実態、ご意見、ご要望を頂戴したいため、字ごとに〇世帯分でございます。（各世帯にアンケート調査票が2票届くように封筒に封入されています）

2. アンケート調査票の配布について

封筒内容物：各封筒にアンケート調査票が2票と依頼文が封入されています。1封で1世帯分です。

②配布対象：むつ市脇野沢地区の各字に〇世帯づつを対象

③配布方法：

- ・広報誌「むつ市政だより 12月15日号」とともにお配り下さい。
- ・お配りいただく世帯は、特に指定はございませんので、アンケート調査入り封筒の挿入である広報誌を順番は気にせず、そのままお配り下さい。
- ・アンケート調査入り封筒が挿入である広報誌を配布する際に住民の方とお会いできたら、アンケート調査票があることをお伝え下さい。また、次号の広報誌「むつ市政だより12月28日号（1月上旬号）」を配布する日に回収する旨をお伝え下さい。（封筒に封入されているお願い文にも記載してあります。）

3. アンケート調査票の回収について

- ・次号広報誌「むつ市政だより 12月28日号（1月上旬号）」を配布の際に記入済みのアンケート調査票を回収して下さい。
- ・回収後のアンケート調査票はむつ市役所までお持ちください。

4. その他

- ・アンケートに関するお問合せ先は下記へお願い致します。

むつ市役所 企画調整課 企画グループ

〒035-8686 青森県むつ市中央1-8-1

担当者：吉田、高橋

TEL：0175-22-1111(代表) 内線(2312、2310)

(お電話でのお問い合わせ：平日9～12時、13～17時)

社会システム株式会社

〒153-0043

東京都目黒区東山1-5-4 中目黒ビジネスセンタービル2F

担当者：小泉、小島

Tel：03-5773-0001(代) Fax：03-5773-0012

(お電話でのお問い合わせ：平日10～17時)

以上、ご協力お願い致します。

交通事業者・観光実態調査実施計画（案）

1. 交通事業者調査

(1) 目的

交通事業者が実施している利用促進策とその効果、課題等を把握する。

(2) 調査対象

- ・ 東日本旅客鉄道株式会社 大湊線営業所
- ・ JR バス東北株式会社 大湊営業所
- ・ 下北交通株式会社
- ・ シィライン株式会社
- ・ むつ湾フェリー株式会社
- ・ 青森県タクシー協会むつ支部会員事業者
- ・ 青森県タクシー協会下北支部事業者

(3) 調査項目

- ・ これまでに実施した利用促進策とその効果、課題
- ・ 下北地域の交通ターミナルの拠点性
- ・ 東北新幹線全線開通に関連した営業戦略

(4) 調査方法

調査対象者に調査票を配布し、後日回収する。

(5) 調査スケジュール

- ・ ～11月末 調査票配布
- ・ 12月初旬 回収

2. 観光実態調査

(1) 目的

下北地域を訪れる観光客（主にツアー以外の個人旅行者）の行動パターン、公共交通への要望等を把握する。

(2) 調査対象

- ・ 各市町村の観光協会
- ・ 観光ルートバス、観光タクシー運行事業者

(3) 調査項目

- ・ 客層（性別、年齢層、居住地等）
- ・ ツアー以外の観光目的来訪者の下北地域までの入り込み経路、手段
- ・ ツアー以外の観光目的来訪者の下北地域入り込み後の行動パターン
- ・ 交通に関する問合せ、要望等
- ・ 観光ルートバス、観光タクシーの利用状況（客層、利用者数、コース等）

(4) 調査方法

調査対象者に事前に質問事項を提示し、後日事業所等に直接訪問し聞き取り調査を行う。

(5) 調査スケジュール

- ・～11月末 質問事項提示
- ・12月初旬 事業所等に直接訪問し聞き取り調査（60分程度）

調査ご協力のお願い

下北地域住民の重要な交通手段としての公共交通機関の機能的な運行(運航)や活性化案の立案・推進が喫緊の課題となっております。そのため、むつ市・大間町・東通村・佐井村・風間浦村、交通事業者、有識者により「下北地域公共交通総合連携協議会」を立ち上げました。住民の皆さまの日頃の交通機関の利用状況や、ご意見・ご要望をお聞きし、地域公共交通総合連携計画を作成するための資料とさせていただくためにアンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、ご回答の内容は統計的に処理をしますので、ご回答頂いた方が特定されることは、一切ありません。


平成 22 年 12 月

下北地域公共交通総合連携協議会

■ご記入いただくにあたって

- ・アンケート実施に際し、下北地域にお住まいの約 1,700 世帯の方を無作為に選び、調査票をお渡ししております。
- ・アンケート票は 2 票入っています。ご家族が 3 名以上いらっしゃるご家庭では、ご家族の中で外出頻度の高い 2 名の方がお答えください。また、なるべく 15 歳以上の方にご回答をお願いします。

■回答方法

- ・回答方法は「番号を選んで記入するもの」「番号に○印をつけるもの」「具体的に記入するもの」があります。回答は  部分に記入してください。
- ・問 1 は 裏面の問 1 の記入例 を参考にご回答ください。

■調査票の返送方法

- ・ご記入いただきましたら、調査票のみを封筒に入れて、次回 (12 月○日前後) 行政連絡員の方が訪問されたときにお渡しください。

■お問い合わせ先

この調査内容及び回答方法に関するお問い合わせは、以下をお願いいたします。

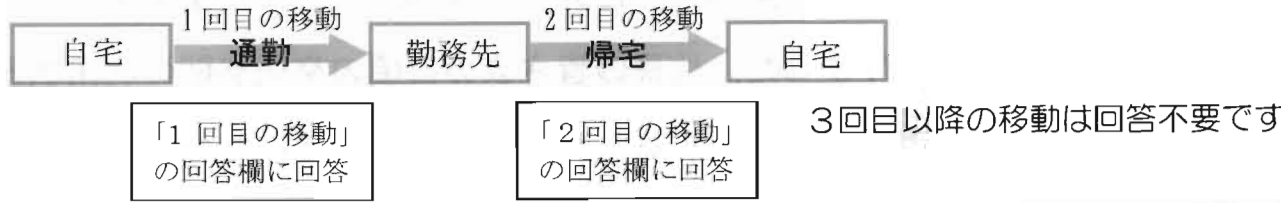
- ・むつ市企画調整課企画グループ (担当: 吉田・高橋)
TEL: 0175-22-1111 (内線 2310、2312)
- ・社会システム株式会社 (担当: 小泉・小島)
TEL: 03-5773-0001 (代表) (お電話でのお問い合わせ: 平日 10 時~17 時)

□ 問1の記入例

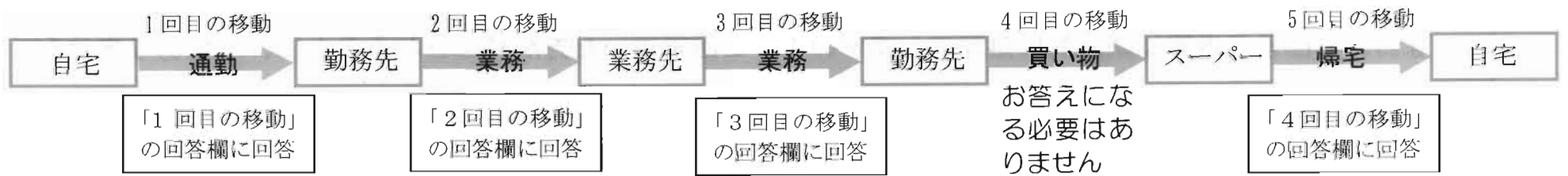
■ 移動の考え方と記入方法

- ◇ 「市町村を越える外出」とは、むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の5市町村内で、自宅のある市町村以外への外出とします。ただし、むつ市はむつ地区、大畑地区、川内地区、脇野沢地区（合併以前の旧市町村）を越えた外出の場合も対象とします。
- ◇ 1つの移動目的（通勤・通学、業務、パート・アルバイト、通院、買い物、送迎、その他の私事、帰宅）ごとに、出発地を出て目的地に着くまでの行動を1回の移動とします。
- ◇ 1回目の移動の出発地は自宅とします。
- ◇ 5回以上移動された場合は、最初の3回の移動と帰宅の移動を回答欄に記入します。

(例1) 自宅から会社へ行き、会社から帰宅した場合



(例2) 自宅から会社へ行き、会社から業務先を往復、会社からスーパーに寄って帰宅した場合



下記の例はむつ市脇野沢にお住まいの方が通院のため一人でむつ総合病院へバスで行き、受診後病院から徒歩でマエダ本店で買い物をし、バスで帰宅した例です。

問1 直近の市町村を越えた外出についてお答えください。(別紙の記入例を参考にご記入ください。)

表-1 目的

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 業務 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 通院 |
| 5. 買い物 | 6. 送迎 |
| 7. その他の私事 | 8. 帰宅 |

表-2 交通手段

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク(原付を含む) |
| 4. 自動車(自ら運転) | 5. 自動車(送迎) | 6. 送迎バス |
| 7. バス | 8. タクシー・ハイヤー | 9. 船 |
| 10. 鉄道 | 11. その他 | |

診察券などで住所を確認して記入してください

1 回目 の 移 動	①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
	1. 通学先・勤務先 ② 通学先・勤務先以外 むつ市 町/大字 小川 町/字 一丁目	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点 (駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
	または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。 (むつ総合病院)	はじめに 1番	5分	脇野沢本町	
	②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 4番	次に 7番	90分	むつ総合病院	
	③出発時刻 ① 午前 ② 午後 6時 20分	次に 1番	3分		
④到着時刻 ① 午前 ② 午後 8時 5分	次に 番	分			

レシートなどで住所を確認して記入してください

2 回目 の 移 動	①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
	1. 通学先・勤務先 2 自宅 ③ 通学先・勤務先、自宅以外 むつ市 町/大字 小川 町/字 二丁目	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点 (駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
	または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。 (マエダ本店)	はじめに 1番	5分		
	②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 5番	次に 番	分		
	③出発時刻 ① 午前 ② 午後 11時 30分	次に 番	分		
④到着時刻 ① 午前 ② 午後 11時 35分	次に 番	分			

3 回目 の 移 動	①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
	1. 通学先・勤務先 ② 自宅 3. 通学先・勤務先、自宅以外 むつ市 町/大字 町/字	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点 (駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
	または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	はじめに 1番	1分	小川町二丁目	
	②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 8番	次に 7番	90分	脇野沢本町	
	③出発時刻 ① 午前 ② 午後 1時 30分	次に 1番	5分		
④到着時刻 ① 午前 ② 午後 3時 10分	次に 番	分			

調査ご協力のお願い

下北地域住民の重要な交通手段としての公共交通機関の機能的な運行(運航)や活性化案の立案・推進が喫緊の課題となっております。そのため、むつ市・大間町・東通村・佐井村・風間浦村、交通事業者、有識者により「下北地域公共交通総合連携協議会」を立ち上げました。住民の皆さまの日頃の交通機関の利用状況や、ご意見・ご要望をお聞きし、地域公共交通総合連携計画を作成するための資料とさせていただくためにアンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、ご回答の内容は統計的に処理をしますので、ご回答頂いた方が特定されることは、一切ありません。


平成 22 年 12 月

下北地域公共交通総合連携協議会

■ご記入いただくにあたって

- ・アンケート実施に際し、下北地域にお住まいの約 1,700 世帯の方を無作為に選び、調査票をお渡ししております。
- ・アンケート票は 2 票入っています。ご家族が 3 名以上いらっしゃるご家庭では、ご家族の中で外出頻度の高い 2 名の方がお答えください。また、なるべく 15 歳以上の方にご回答をお願いします。

■回答方法

- ・回答方法は「番号を選んで記入するもの」「番号に○印をつけるもの」「具体的に記入するもの」があります。回答は  部分に記入してください。
- ・問 1 は 裏面の問 1 の記入例 を参考にご回答ください。

■調査票の返送方法

- ・ご記入いただきましたら、調査票のみを返信用封筒に入れて、12 月○日までにご返送ください。切手は不要です。

■お問い合わせ先

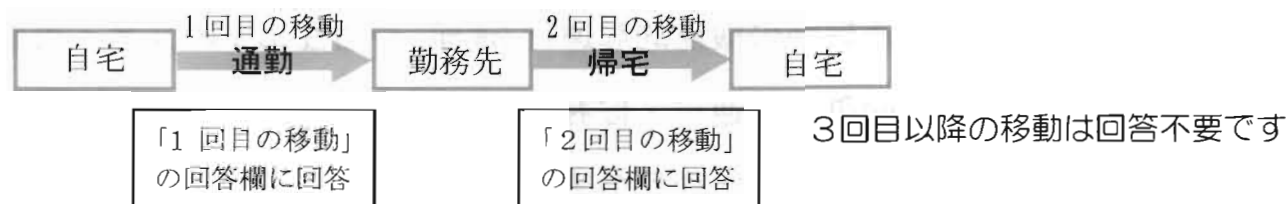
この調査内容及び回答方法に関するお問い合わせは、以下をお願いいたします。

- ・むつ市企画調整課企画グループ（担当：吉田・高橋）
TEL：0175-22-1111（内線 2310、2312）
- ・社会システム株式会社（担当：小泉・小島）
TEL：03-5773-0001（代表）（お電話でのお問い合わせ：平日 10 時～17 時）

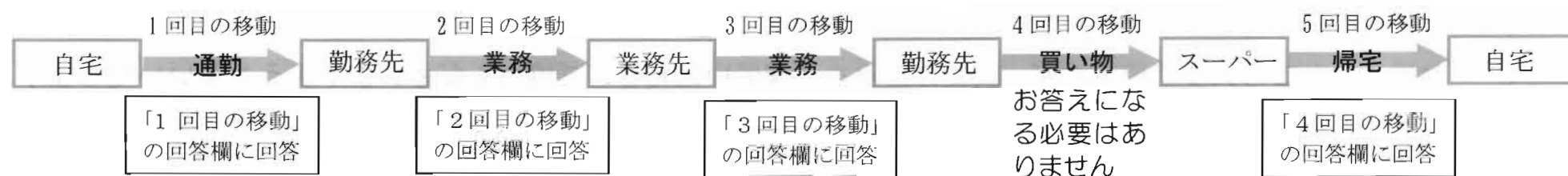
■ 移動の考え方と記入方法

- ◇ 「市町村を越える外出」とは、むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の5市町村内で、自宅のある市町村以外への外出とします。
ただし、むつ市はむつ地区、大畑地区、川内地区、脇野沢地区（合併以前の旧市町村）を越えた外出の場合も対象とします。
- ◇ 1つの移動目的（通勤・通学、業務、パート・アルバイト、通院、買い物、送迎、その他の私事、帰宅）ごとに、出発地を出て目的地に着くまでの行動を1回の移動とします。
- ◇ 1回目の移動の出発地は自宅とします。
- ◇ 5回以上移動された場合は、最初の3回の移動と帰宅の移動を回答欄に記入します。

(例1) 自宅から会社へ行き、会社から帰宅した場合



(例2) 自宅から会社へ行き、会社から業務先を往復、会社からスーパーに寄って帰宅した場合



下記の例はむつ市脇野沢にお住まいの方が通院のため一人でむつ総合病院へバスで行き、受診後病院から徒歩でマエダ本店で買い物をし、バスで帰宅した例です。

問1 直近の市町村を越えた外出についてお答えください。(別紙の記入例を参考にご記入ください。)

表-1 目的

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 業務 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 通院 |
| 5. 買い物 | 6. 送迎 |
| 7. その他の私事 | 8. 帰宅 |

表-2 交通手段

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク(原付を含む) |
| 4. 自動車(自ら運転) | 5. 自動車(送迎) | 6. 送迎バス |
| 7. バス | 8. タクシー・ハイヤー | 9. 船 |
| 10. 鉄道 | 11. その他 | |

診察券などで住所を確認して記入してください

1回目の移動

①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
1. 通学先・勤務先 ② 通学先・勤務先以外 むつ市 町/大字 小川 町字 一丁目	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。 (むつ総合病院)	はじめに 1番	5分	脇野沢本町	
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 4番	次に 7番	90分	むつ総合病院	
③出発時刻 ① 午前 2. 午後 6時 20分	次に 1番	3分		
④到着時刻 ① 午前 2. 午後 8時 5分	次に 番	分		

レシートなどで住所を確認して記入してください

2回目の移動

①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
1. 通学先・勤務先 2. 自宅 ③ 通学先・勤務先、自宅以外 むつ市 町/大字 小川 町字 二丁目	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。 (マエダ本店)	はじめに 1番	5分		
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 5番	次に 番	分		
③出発時刻 ① 午前 2. 午後 11時 30分	次に 番	分		
④到着時刻 ① 午前 2. 午後 11時 35分	次に 番	分		

3回目の移動

①目的地	利用した交通手段			⑧同行者の人数
1. 通学先・勤務先 ② 自宅 3. 通学先・勤務先、自宅以外 市・町/大字 町/字	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	0人
または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	はじめに 1番	1分	小川町二丁目	
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 8番	次に 7番	90分	脇野沢本町	
③出発時刻 1. 午前 ② 午後 1時 30分	次に 1番	5分		
④到着時刻 1. 午前 ② 午後 3時 10分	次に 番	分		

問1 直近の市町村を越えた外出についてお答えください。（別紙の記入例を参考にご記入ください。）

表-1 目的

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 業務 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 通院 |
| 5. 買い物 | 6. 送迎 |
| 7. その他の私事 | 8. 帰宅 |

表-2 交通手段

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク(原付を含む) |
| 4. 自動車(自ら運転) | 5. 自動車(送迎) | 6. 送迎バス |
| 7. バス | 8. タクシー・ハイヤー | 9. 船 |
| 10. 鉄道 | 11. その他 | |

1
回
目
の
移
動

①目的地 1. 通学先・勤務先 2. 通学先・勤務先以外 市・町/大字 町/字 または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	利用した交通手段			⑧同行者の人数 人
	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	
	はじめに 番	分		
	次に 番	分		
	次に 番	分		
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 番	次に 番	分		
③出発時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		
④到着時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		

2
回
目
の
移
動

①目的地 1. 通学先・勤務先 2. 自宅 3. 通学先・勤務先、自宅以外 市・町/大字 町/字 または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	利用した交通手段			⑧同行者の人数 人
	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	
	はじめに 番	分		
	次に 番	分		
	次に 番	分		
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 番	次に 番	分		
③出発時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		
④到着時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		

3
回
目
の
移
動

①目的地 1. 通学先・勤務先 2. 自宅 3. 通学先・勤務先、自宅以外 市・町/大字 町/字 または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	利用した交通手段			⑧同行者の人数 人
	⑤利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑥所要時間 (分単位で記入)	⑦交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	
	はじめに 番	分		
	次に 番	分		
	次に 番	分		
②そこに行かれた目的 (右上の表-1から) 番	次に 番	分		
③出発時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		
④到着時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		

4
回
目
の
移
動

①帰宅直前の出発地 「3回目の移動」の目的地と同様の場合は出発地の記入は不要 1. 通学先・勤務先 2. 通学先・勤務先以外 市・町/大字 町/字 または、付近の有名な建物、駅名、停留所名等をお書き下さい。	利用した交通手段			⑦同行者の人数 人
	④利用した交通手段の種類 (右上の表-2から)	⑤所要時間 (分単位で記入)	⑥交通手段を乗り換えた地点(駅名、停留所名、有名な建物を記入して下さい。)	
	はじめに 番	分		
	次に 番	分		
	次に 番	分		
②出発時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		
③到着時刻 1. 午前 2. 午後 時 分	次に 番	分		

上記で回答いただいた移動と同じ移動をする頻度はどのくらいですか？

1. 毎日 2. 週5~6回 3. 週2~4回 4. 週1回 5. 月2~3回 6. 月1回 7. 年数回(月一回未満)

裏面へお進みください

問2 交通利用についてお答えください。

表 交通手段

1. バス 2. 鉄道 3. タクシー・ハイヤー 4. 船 5. その他

問2-1 問1で公共交通を利用されていなかった方は利用しない理由をお答えください。(理由を下の選択肢から選んだ上で、それに該当する交通手段を上の上の表の中から1つ選んでください。理由が「5.その他」のときは番号を回答欄に記入した上で、選択肢の網がけ部分に直接記入してください。)

(回答欄)

1番	交通手段 (上の表から)	⇒	2番	交通手段 (上の表から)	⇒	3番	交通手段 (上の表から)

(選択肢)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 利用したい時に運行していない | 2. 乗り継ぎ等接続が悪い |
| 3. 運賃が高い | 4. 駅・バス停・船着場まで遠い |
| 5. その他 () | |

問2-2 公共交通サービスがどのように改善されれば公共交通を利用するようになるかお答えください。(理由を下の選択肢から選んだ上で、それに該当する交通手段を上の上の表の中から1つ選んでください。理由が「6.その他」のときは番号を回答欄に記入した上で、選択肢の網がけ部分に直接記入してください。)

(回答欄)

1番	交通手段 (上の表から)	⇒	2番	交通手段 (上の表から)	⇒	3番	交通手段 (上の表から)

(選択肢)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 他の交通手段との接続をよくする | 2. 運賃を引き下げる |
| 3. 路線(航路)を分かりやすくする | 4. バス路線・バス停(乗船場)を新設する |
| 5. 割引チケットを販売する | |
| 6. その他 () | |

問3 公共交通全般にご意見・ご要望等を自由にお書き下さい。

(回答欄)

問4 最後にあなたご自身についてお伺いします。

①性別	1. 男性 2. 女性
②年齢	1. 15歳未満 2. 15～24歳 3. 25～34歳 4. 35～44歳 5. 45～54歳 6. 55～64歳 7. 65～74歳 8. 75歳以上
③住所	〒 □□□-□□□□ () 市・町・村 / 大字 () 町 / 字 ()
④職業	1. 会社員 2. 公務員 (自衛隊) 3. 公務員 (自衛隊以外) 4. 自営業 5. 専業主婦 6. 学生 7. 無職 8. パート・アルバイト 9. その他
⑤通勤・通学先	() 市・町・村 / 大字 () 町 / 字 ()
⑥世帯人数	自分を含めて () 人
⑦運転免許	1. 自動車免許を保有 2. 原付免許、自動二輪免許のみを保有 3. 運転免許を返納済 4. 免許保有なし
⑧自家用車の有無	1. 自分で自由に使える自動車がある 2. 家族等と共有で使える自動車がある 3. 自分は使わないが家族等が使う自動車がある 4. 自動車は持っていない 
⑨送迎環境	1. 車での送迎を頼める家族がいる 2. 車での送迎を頼める近所の人がいる 3. 車での送迎を頼める人がいない 

移動手段がないため、外出を控えられた事がありますか？

1. よくある

2. たまにある

3. あまりない

4. ほとんどない

5. その他 ()

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。